

令和7年度

## ヒューマンケアリングセンター活動報告書



## 目次

1. ヒューマンケアリングセンターの活動	
1) 活動目的 .....	2
2) 活動目標 .....	2
2. 活動実績	
1) 臨床看護職連携部門 .....	2
2) 地域連携部門 .....	2
3) 学生ボランティア部門 .....	3
4) 学外組織との連携協力による教育研究の推進 .....	3
5) 広報活動 .....	3
3. 全体評価	
1) 事業 .....	4
2) 次年度への課題 .....	4
4. 各事業の報告	
1) 臨床看護職連携部門の活動	
看護職のためのチームづくり研修会 .....	5
中四国地区赤十字関連施設看護継続教育研修会 .....	6
臨床指導者研修会 .....	7
看護師長のためのリフレクション研修 .....	8
2) 地域連携部門の活動	
あいプラザまつり .....	9
健康フェスタ in フジグランナタリー .....	10
地域の笑顔とクロスする！元気プロジェクト .....	11
阿品台いきいき健康づくり .....	12
日本赤十字広島看護大学 公開講座 .....	13
廿日市市女子野球タウンフェスティバル .....	14
3) 学生ボランティア部門の活動	
認知症サポーター養成講座 .....	15
ゲートキーパー養成講座 .....	16
ボランティア活動の推進・実績 .....	17
4) 学内教員の活動報告	
社会活動 .....	21

## 1. ヒューマンケアリングセンターの活動

### 1) 活動目的

本学の教育・研究機能を学外に開き、社会と連携・協働しながら、地域の保健医療福祉に貢献する教育機関として活用できる生涯学習拠点として活動する。

### 2) 活動目標

- (1) 赤十字施設および実習施設など地域の保健医療施設と連携・協働し、専門職を対象として、ニーズに合った生涯学習の機会を提供する。
- (2) 廿日市市との包括協定を活かして、地域住民を対象として、ニーズに合った生涯学習の機会を提供する。
- (3) 教育ネットワーク中国・社会福祉協議会など外部関係団体との連携を図り、地域住民のニーズにあった生涯学習の機会を提供する。
- (4) 地域支援活動を効果的・効率的に学内外へ広報する。
- (5) 自治体と連携・協働し、地域住民の健康の保持増進に寄与するための健康学習と支援体制を推進する。
- (6) 地域支援活動の成果を評価し、活性化を図る。

## 2. 活動実績

### 1) 臨床看護職連携部門

開催時期	開催内容	開催方法	参加人数
6月～12月	臨床指導者研修会	対面	延 75 人
6月 28 日	中四国地区赤十字関連施設看護継続教育研修会	対面	18 人
1月 24 日	看護職のためのチームづくり研修会	対面	30 人

### 2) 地域連携部門

開催時期	開催内容	開催場所	参加人数
10月 25 日	健康フェスタ	フジグラン ナタリー	66 人
11月 3 日	あいプラザまつり	山崎本社み んなのあい プラザ	45 人
9月 25 日		日本赤十字	10 人
1月 27 日	地域の笑顔とクロスする！元気プロジェクト	広島看護大	10 人
3月 24 日			学

2月16日	阿品台いきいき健康づくり	阿品台市民センター	18人
3月6日	日本赤十字広島看護大学 公開講座	山崎本社みんなのあいプラザ	41人

### 3) 学生ボランティア部門

学生ボランティア等参加募集及び活動実績

参加募集		活動実績
地域支援・保健・福祉に関するボランティア	88件	約223人
病院や教育に関連するアルバイト	13件	
セミナー	0件	

学生のボランティア意識向上や地域活動推進のための講座

開催時期	開催内容	開催場所	参加人数
4月7日	ボランティア講習会	日本赤十字広島看護大学	140人
10月1日	認知症サポーター養成講座	日本赤十字広島看護大学	139人
2月9日	ゲートキーパー養成講座	日本赤十字広島看護大学	17人

### 4) 学外組織との連携協力による教育研究の推進

教育ネットワーク中国のシステムを活用し、看護系大学として他大学にないテーマの提供と教育研究成果の還元ができるよう調整した。

廿日市市社会福祉協議会主催の学生を対象とした認知症サポーター養成講座を実施することで、認知症に関する学習機会を設けた。また、学生を対象としたゲートキーパー養成講座も実施し、精神保健に関する学生の地域支援活動力の強化を図っている。

また、科研による早稲田大学との共同研究に取り組み、令和7(2025)年度は、廿日市市立宮島小学校と宮園小学校において、学生ボランティアによる防災教育を実践した。今後は、防災教育に関するプラットフォームを確立し、学生も参加した地域における防災教育の支援体制を構築する予定である。

### 5) 広報活動

本学ホームページに各事業の募集記事を掲載した。

臨床看護職連携部門では、赤十字関連施設、実習関連施設、近隣の医療施設を中心にチラシを配布し、地域連携部門では、主に廿日市市、広島県教育委員会、教育ネットワーク中国を通して募集を募った。また、地域の方のニーズに応じた研修会が提供できるよう、地域に向け開催できる講座をホームページで紹介した。応募が少ない事業に関しては、再度チラ

シを配布し住民への参加を募った。

学生ボランティア部門では、本学のサイトから学生ボランティアの応募を募っている。団体等からの応募に関しては、本学ホームページのトップ画面にボランティア依頼の掲示をする等閲覧しやすいよう工夫している。

### 3. 全体評価

#### 1) 事業

令和 5（2023）年度から開催している地域住民の健康増進に寄与するための拠点として「地域の笑顔とクロスする!元気プロジェクト」を継続して実施している。今年度は、住民が急変した時に兆候を五感で捉え、適切な対応ができるよう、体の観察の仕方を学ぶ内容とした。大変好評を得て、町内会から同様のテーマでの研修依頼があるなど、地域活動に発展した。さらに、昨年度から始めた助産師教員による中高年女性のためのボディートリートメントも好評であったため、今年度も開催した。この元気プロジェクトは、今後も継続して実施していく予定である。

令和 6（2024）年度から、各教員が地域貢献できるテーマについて、毎年調査し、学外に公開することによって、地域に開かれた知の拠点として活動を強化する基盤を整えることができ、地域から研修会の要望等が増加している。

臨床看護職連携部門では、リカレント教育として位置付けられた臨床指導者研修会は、今年度も参加者が多く、昨年に続けて、全課程修了者には、「修了証書」を発行することができた。本事業については、今年度の実習指導者連携会議でも紹介をした。その他の看護専門職の研修会の企画運営も、参加者からのニーズ調査をもとに、より学習ニーズに合った研修を企画できるように体制を整えている。

学生ボランティア部門は、ボランティア登録システムが定着し、年々、ボランティア参加者が増加している。また、医療関係のアルバイトを含む依頼も増加しており、学生は研修を兼ねたボランティアをすることで、学習の場を広げている。

以上のことから、センター機能としての運営体制を整備並びに定着を推進している。

#### 2) 次年度への課題

ヒューマンケアリングセンターは、今後、知の拠点として、大学が有する知を、地域の人々に広く知っていただき、活用していただくために広報をしていく必要がある。ホームページから情報を得る人も増加していることから、より分かりやすいページにしていく必要がある。

また、赤十字の大学として、小学生や中学生を対象にした学校防災に関する学生ボランティアを巻き込んだ活動の活性化に向けて、事業の拡大を図ることが課題である。

#### 4. 各事業の報告

##### 1) 臨床看護職連携部門の活動

###### 看護職のためのチームづくり研修会

###### <事業評価>

「ファシリテーション研修～話し合いがちょっとだけ楽しくなるコミュニケーションスキル～」をテーマに、昼食を挟み6時間30分のレクチャーとミニワーク、ブレinstoーミングを取り入れた研修会を開催した。参加者は30名で4つのグループに分かれて意見交換を行った。講師から、コミュニケーションやファシリテーションについての講義を聴講した後、カンファレンスの場面の再現によるデモンストレーションを観察した。さらに、グループに分かれて参加者全員がファシリテーション役を体験しながら「よりよいチームを作る方法」について話し合った。各グループともに活発にディスカッションが行われていた。

受講後のアンケートの回答率は93.3%であり、100%が「満足」と回答し、評価の高い研修となった。講師から実践に活かせる内容を具体的に教授していただいたことで、参加者の日頃の疑問の解決に繋がったことや、参加型の研修会であり、他施設のとの交流時間が多く、楽しく受講できたこと、また、講師の話し方や人柄にも魅力を感じたことも満足度に繋がったと思われた。

###### <今後の課題>

昨年度の約20名の参加者と比べて今年度は30名であったため、講義の聴講用とグループワーク用の2つの講義室を準備することで、円滑に運営することができた。当日は雪による交通規制が発生したため5名がキャンセルされた。今後は可能な限り開催時期を検討する。その他、参加者から温かい飲み物を自動販売機で購入したいとの希望があったため、環境整備を検討する。



## 中四国地区赤十字関連施設看護継続教育研修会

### <事業評価>

令和7（2025）年度は、昨年に引き続き、シミュレーションセッションにおけるファシリテーションスキルを身につけることを目的に、「新人指導・教育でのファシリテーターの役割」というテーマで、京都橘大学の野島敬祐准教授を招聘し、研修会を開催した。研修では、シミュレーション教育での理論や実践のための手順などについて学んだ。その後、研修参加者がそれぞれ看護師と患者および指導者役となり、シミュレーション研修の場面を再現し、具体的なファシリテーションスキルを実践しながら学んだ。

18名の参加があり、アンケート回答者の93%が研修会に「満足」と回答した（回答率83.3%）。参加者からは「講義だけではなく、実践をする機会があり、参加者とのディスカッションや講師からの助言があり、学びを深めることができた。」など、シミュレーション教育でのファシリテーションスキルを学ぶことができ、研修の目的はおおむね達成できたと考える。昨年は時間が短かったという意見があり、今年は1日コースとしたことで時間に関する不満の声は無かった。会場を実習室1としたことで設営に時間がかからず、参加者からも72%が会場は適切だったと回答を得た。

### <今後の課題>

グループに分かれた演習をする際に、名札の必要性が出てきたため、急遽、宛名シールを用いて、名札を準備することになった。また、参加者の経験年数を基本にグループ分けを行ったが、所属の重なりについては考慮しなかった点は次回の改善点としたい。



## 臨床指導者研修会-共に創るポストコロナ時代の看護実習教育 -

### <事業評価>

本学は、保健師課程、助産師課程の実習を含め約50施設に実習の協力をいただいている。令和4（2022）年度から「臨床看護職連携部門」の運営として位置付け、臨床指導者の指導力向上や新人教育の質向上に寄与することを目的に実施している。

令和7（2025）年度も本学にて対面形式の研修とし、リフレクションやグループワーク等、活発にディスカッションする機会となった。実習指導や新人教育・後輩育成に携わる指導者などが参加し、そのうちほとんどが全課程を受講していた。第1回17名、第2回20名、第4回19名、第5回19名、延べ75名が受講、17名が全課程を修了し修了証書を授与した。

本研修会全課程終了時のアンケートでは、「非常に満足」「おおむね満足」が8～9割を占めており、指導における理論的知識や学習者の特性等を理解し、時代に即した指導をする必要性や指導者自身もリフレクションすることで次の指導に活かせるなど受講生にとって学びの機会となったようである。

### <今後の課題>

本研修会におけるリフレクションのグループワークでは、担当委員がファシリテーターを行った。次年度もファシリテーターとしてのスキル向上に努めるとともに、ファシリテーターを担当できる委員を増員できるよう計画する。

令和7年度 臨床指導者研修会 プログラム		
<b>第1回 令和7年6月26日（木）</b>		
時間	プログラム内容	講師
9:00～10:30	開講式/オリエンテーション 絵本で学ぶコミュニケーション	HCC運営委員会 矢野博史
10:40～12:10	教育原理-教育という自明性の再検討-	矢野博史
13:00～16:10	リフレクションの概念	田村由美
<b>第2回 令和7年7月31日（木）</b>		
時間	プログラム内容	講師
9:00～10:30	教育方法-教授と学習の基礎理論-	矢野博史
10:40～12:10	社会の変化に対応する高等教育としての看護基礎教育と看護学実習	村田由香
13:00～14:30	対人関係論	戸村蓮子
14:40～16:10	実習指導の実態 実習指導計画立案	村田由香
<b>第3回 8月～9月 自施設における実習指導案を用いた臨床指導者実習学習ポートフォリオの作成（コーナー式）</b>		
<b>第4回 令和7年11月6日（木）</b>		
時間	プログラム内容	講師
9:00～12:10	実習指導の実践のリフレクション	HCC運営委員会
13:00～14:30	看護理論 看護の概念、看護の知と実習指導	山村美枝
14:40～16:10	看護倫理 実習指導における倫理的課題	川西美佐
<b>第5回 令和7年12月11日（木）</b>		
時間	プログラム内容	講師
9:00～12:10	発達障害及びその特性を持つ学生の理解と実習指導	大森寛和（山形県立保健医療専門学校（山形）センター長）
13:00～14:30	教育心理-看護学生及び学習者の心理-	丸山愛子
14:40～16:10	実習指導からの学びの共有/ディスカッション 課題と今後のchallenge	HCC運営委員会
16:10～	修了式/修了証授与	HCC運営委員会



## 看護師長のためのリフレクション研修会

### <事業評価>

昨年度から、ヒューマンケアリングセンター共催により、開催している自主企画研修会である。この研修の目的は、看護師長がリフレクションスキルを習得することである。スタッフのリフレクションを支援するためには、まず、看護師長がリフレクションの実践者であり、スタッフのファシリテーターとなるスキルを身に付けておくことが重要であるという発想から、本研修会を開講している。

13名の参加があり、6月～11月まで毎月土曜日の午後2コマ研修会を開催した。終了後のアンケートには「マネジメントをする上で、対象者を知る事も大事だが、なによりも自己を知り、自分が選択していく内容の傾向を知っておく事も重要」ということに気づくことができたという感想があった。また、「譲れない価値や、経験に裏打ちされる知識、技術など、専門職である自分の全貌を改めて見直すことが出来た。自分の価値も認めながら、他者との対話を積極的に行い、リフレクションしていきたい。」と、看護師長がリフレクティブであることの意味付けができていくことがわかる感想もあった。

リフレクションは、ハウツーで修得できるものではなく、何度も自分の経験を深く自己洞察をすることで、思考の習慣化ができるように、自分が変化していくことを体感することができる深い学習である。

最終回終了後のアンケート結果も概ね満足度が高かった。

### <今後の課題>

1病院4名まで参加可能として募集したが、今年度は、参加できない理由に、病棟移転があったり、病院機能評価の受審などがあった。次年度も、4月から広報を実施して、20名を目標に広報する予定である。



2025年度  
看護師長のための  
リフレクション研修会

全職種5回のリフレクション研修会を開催します。  
スタッフのリフレクションを支援するためには、まず、看護部長がリフレクションの実践者であり、スタッフのファシリテーターとなるスキルを身に付けておくことが重要です。体験しながらリフレクションを学びましょう。

場所：日本赤十字広島看護大学 301講義室  
講師：学長 田村由美 ファシリテーター：副学長 村田由香

日時：第1回 5月24日（土）13：00～16：10  
第2回 6月21日（土）13：00～16：10  
第3回 8月2日（土）13：00～16：10  
第4回 9月13日（土）13：00～16：10  
第5回 10月4日（土）13：00～16：10

対象者：①医療施設に従事している看護部長（1施設につき4名まで）  
定員：20名 受講料：20,000円  
申込：QRまたはE-Mailにてお申込みください。  
[E-Mail] [human@jrchcn.ac.jp](mailto:human@jrchcn.ac.jp)  
E-Mailでお申込みの際は、次の内容を入力してください。  
氏名：リフレクション研修会  
本文：①氏名 ②氏名（フリガナ） ③連絡用メールアドレス  
④電話番号 ⑤所属施設

申込期限：2025年5月9日（金）※定員になり次第締め切ります。  
申込先：広島銀行日田市ニュータウン支店（電話番号058）普通預金 3036978  
日本赤十字広島看護大学 学長 田村由美  
（〒737-8577 広島県日田市ニュータウン 1-1-1）

※ご入会いただいた受講料については、返金いたしませんのでご了承ください。

◆会場のご案内◆ 駐車場がございますのでご利用ください。

日本赤十字広島看護大学ヒューマンケアリングセンター 自主企画  
TEL：0829-20-2806

## 2) 地域連携部門の活動

### あいプラザまつり

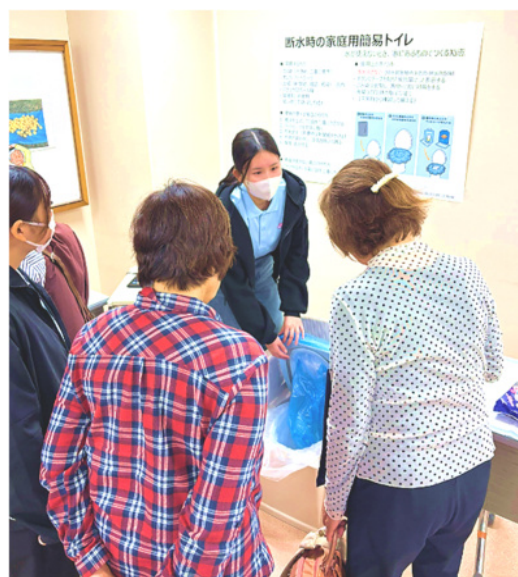
#### <事業評価>

「暮らしの安全ミニ講座 けがの手当て×災害時の感染対策の知恵袋」をテーマに、日常生活および災害時に役立つ知識と技術の普及を目的として実施した。全体来場者は約 750 名で、本学のブースには 45 名が参加した。参加者は 40 歳以上が多く、健康や防災への関心の高い層で、「一度、聞いておきたかった。ためになった」と感想が聞かれた。三角巾を用いたけがの手当ての実施、ポータブルトイレを活用して断水時の簡易トイレの作り方の模擬展示し、参加者が自宅にある物品を想起しながら理解を深める機会となった。模擬展示をブース入口から見える位置に設置し、声掛けを行ったことで、関心を持って入場する来場者が多く見られた。また、日本赤十字社のハンドブック配布により、学びを持ち帰ることができた。ボランティア学生は少人数であったが、子どもにも適切に対応し主体的に活動していた。けがの手当ては動画を活用した工夫により、ブースの活気向上にもつながった。

#### <今後の課題>

けがの手当てには参加せず退場する来場者もあり、短時間でも関心を引きつける導入方法の工夫が必要である。こどもまつりと同時開催されるため、小さな子ども連れの来場者が多いものの立ち寄りにくい様子が見受けられた。遊びスペースの設置やクイズ形式の参加型企画など、家族で参加しやすい工夫が求められる。また、ブースの場所が、来場者が 1 階から 2 階にのぼる階段から離れているため、チラシ作成や積極的な呼び込みを行い、本企画の周知を強化が必要である。

次年度は動画再生用の延長コード等の備品準備を含め、展示・動線・参加方法を改善し、ファミリー層にも防災・感染対策の学びを届けることが課題である。



## 健康フェスタ in フジグランナタリー

### <事業評価>

フジグランナタリー・行政・民間一体となり発信を行うことを目的で行われる健康と介護の情報発信イベント「健康フェスタ in フジグランナタリー」に、本学も10月25日(土)に参加した。大切な命を救う!救命法(心肺蘇生法)というテーマで赤十字救急法指導員の資格を持つ教員と学生で、心肺蘇生法・AEDを用いた除細動の体験を行った。大人48名、子ども18名、計66名の参加があった。大人の方は、これまでやったことはあるが復習のため体験するという人もおり、心肺蘇生法を実施すべき状態や、周囲の人たりと助け合いながら実施する方法などの詳しい説明を加えることで、より興味をもってもらうことができた。小学生や幼児が興味を持って立ち止まることで、親子で参加されることが多く、その場合は、親子で一緒に体験するようにした。保護者には、リトルジュニア(小児)のほうで体験される人もあり、赤ちゃんや小児の心臓マッサージの方法を伝えた。来場者からは、「倒れた人の役に立てそう。」「これまでもやったことはあったけど、復習になった。」などといった感想が聞かれました。

### <今後の課題>

スーパーの来店者が増える時間帯で、実施した。そのため、様々な世代が買い物のついでに参加してもらうことができた。することが多かった。今後も開催時間や開催方法の工夫をしていく。老若男女の方に興味をもってもらうために、今回は、リトルアンとリトルジュニアを用意したことは、大人だけでなく親子で体験しやすくなる、保護者が子どもの救命の方法を体験できるなど有意義な場の提供ができたと考える。スーパーにという場所であることから、気軽に立ち寄り、様々な体験ができる内容の工夫をしていく必要がある。



## 地域の笑顔とクロスする！元気プロジェクト

### <事業評価>

令和 5（2023）年度より、本学教員の研究活動を地域に還元する目的で開催している。令和 7 年度は、年間 3 回開催とした。

第 1 回 6 月 3 日は、「受診時の問診で症状を伝える際のポイント～『伝わる』伝え方ができるために～」をテーマに 11 名が参加した。2 人 1 組で医師役と患者役を体験しながら、医療従事者に症状を具体的に『伝える』ためのコツを学び、「これからの通院の役に立ちそう」などの感想が得られた。

第 2 回 1 月 27 日は、「中高年女性のボディートリートメント～ちょっとした工夫で不調を整え、元気な私になろう～」をテーマに 10 名が参加した。フレイルに関する講義の後、女性特有の症状を緩和する目的に全身を使った有酸素運動、肩こり解消や骨盤底筋を鍛える運動、ストレッチなどをし、終始和やかな雰囲気を楽しみながら取り組む様子が見られた。

第 3 回 3 月 25 日は、「春を探して健康ウォーク」をテーマに行った。ウォーキングへの関心が高く、参加者の希望により、この時期に継続開催としてる。

いずれの回も、学生ボランティアの活躍もあり、学生との交流を通じながら、地域のニーズに対応した内容になった。

### <今後の課題>

プロジェクトの内容によって、参加者数に開きがあり、広報のリマインドをする回もあった。そのため、本学の各教員の得意分野を活かせるような企画内容や広報の方法を工夫する必要がある。ウォーキング講座は好評であったため、次年度も実施することとした。

地域の方々との交流を深め、本学が生涯学習の拠点となるよう、来年度も年 3 回の実施に向け継続事業として整備する。



## 阿品台いきいきプロジェクト後継事業

### <事業評価>

阿品台市民センターと共催し、本学の教員が健康づくりに関連した講座を開催した。テーマは「ちょっとした**けが**の応急手当」とし、日常生活において、鼻血が出たときの止め方や、やけどした時の対応など、ちょっとしたけがをしたときの対応について知りたいという地域から相談があり、このテーマとした。参加者は、18名であった。受付の後に血圧測定など健康チェックを行った。研修内容は、まず、日ごろ、どんなけがをよくするのか、参加者自身に振り返っていただいた。鼻血の処置は、上を向くのはよくないことがわかった、など日常によくあるけがの対処方法の理解が深まった。その後、捻挫のときの三角巾を用いた固定の仕方などを実践した。アンケートから、けがをしたときに役立つ、防災グッズを準備しておくなど、けがや災害への対応について理解が深まった。学生のボランティアが2名参加し、血圧測定やけがの手当て方法について、参加者に助言するなどして、参加者と交流を図ることができた。

広報においては、阿品台市民センターの協力により、市民センターだよりで広報し、市民センターへチラシと申込書を設置し、電話申込み受付も可能とするなどの対応により、周知が図られた。

### <今後の課題>

今後も、地域住民のニーズに応じたテーマを取り入れながら、阿品台市民センターと連携して地域住民の健康の保持増進を推進する事業を継続する。

いきいき健康づくり講座  
参加費 無料 (先着30名様)  
ちょっとした**けが**の応急手当

寒さで動きが鈍くなると、ちょっとしたけがをすることがあります。鼻血ややけどをしたときなど“ちょっとしたけが”の応急手当の方法を一緒に学びましょう!

日程 2026年2月16日(月)  
時間 13時30分~15時  
場所 阿品台市民センター大研修室  
講師 水馬 朋子 (日本赤十字広島看護大学)

申込み方法: 阿品台市民センターへ直接お申込みください。

お問い合わせ 日本赤十字広島看護大学 TEL 0829-20-2806  
阿品台市民センター TEL 0829-39-4338

主催: 日本赤十字広島看護大学 共催: 阿品台市民センター



<事業評価>

山崎本社みんなのあいプラザにて、『五感で生命を救う観察の技～「いつもと違う？」急病のサインに気づくために～』をテーマに開催した。参加者は、20歳以下1名、20歳代1名、30歳代2名、40歳代2名、50歳代2名、60歳代11名、70歳代17名、80歳代以上5名の計41名であった。平日開催ということもあり、参加者の8割が60歳以上であった。

講義では動画教材を活用し、具体的な急変のサインを視覚的に学ぶとともに、当日は学生ボランティアも加わってグループワークを実施した。参加者同士や学生との交流を通じて、実践的な学びを深める機会となった。実施後のアンケートでも、参加者全員が「分かりやすかった」と回答し、高評価であった。特に、「動画があり、具体的な症状のイメージがしやすかった」「グループワークを通して楽しく学ぶことができ、1時間があっという間だった」「今後の生活や、自分自身の観察に役立てたい」という声も寄せられた。

全体を通して、ニーズに合った内容が楽しく学べた成果であったと考える。

<今後の課題>

公開講座の対象者によって、平日開催もしくは土日開催の検討が必要であり、ターゲットによって広報媒体の使い分けを行うべきである。今後は、アンケートにあった、「認知症」や「終活」といった要望も参考に、ニーズ合った、日常に役立つ知識を届けていく必要がある。



令和7年度 日本赤十字広島看護大学 公開講座

### 五感で生命を救う観察の技

あなたの「気づき」が生命を救う

五感を武器に！  
寄り添う心と見抜く目

「あれ？なんだか変だな？」  
その直感を確かな気づきに変える観察のコツを、お伝えします。  
生命を守るための最初の一步を、一緒に学びましょう。

**日時** 3月6日(金)  
10:30-11:30

**講師** 川西 美佐  
日本赤十字広島看護大学  
基礎看護学 教授

**場所** 山崎本社みんなのあいプラザ  
3階講座室  
(廿日市新宮一丁目13-1)

**対象** どなたでも(参加費無料)

申込：右下の二次元コード、メール、電話  
メールの場合は、次の内容を入力してお送りください  
件名：公開講座  
本文：①氏名、②年齢、③住所(市・町まで)、④電話番号  
宛先：human@jrchn.ac.jp

お問い合わせはこちら/  
日本赤十字広島看護大学ヒューマンケアリングセンター  
TEL：0829-20-2806 Mail：human@jrchn.ac.jp  
主催：日本赤十字広島看護大学ヒューマンケアリングセンター

## 廿日市市女子野球タウンフェスティバル

### <事業評価>

今年度、初めて参加し、本学のピーアールを図った。

参加者を対象に、血圧測定や握力測定、健康相談を実施し、自分の身体や心を見直す機会としていただいた。

小・中学生の野球チームの参加もあり、子どもたちも自分の健康を意識する機会となった。

また、本学の大学院紹介パンフレットを手渡し、本学の学び舎としての周知を図った。

本学については、阿品台に大学があるのは知っているが、名前までは知らない人、大学があることも知らない人などもおられたため、本学の知名度を上げる有意義な機会となった。

学生ボランティアを募集したが、定期試験前のため参加は1名にとどまった。

### <今後の課題>

若い年代のイベントであるため、本学を将来受験対象としていただけるよう、ピーアールの場として、今後も活動を継続していきたいものである。

低年齢の子どもたちの参加が多いので、次年度は子ども用の血圧計も準備して、子どもたちにも自分の健康を見直す機会にできるように対応していきたい。

**入場無料**  
HATSUKAICHI  
**廿日市市女子野球タウンフェスティバル**  
RCC IRAWでも開催!  
日時 **11/29日・30日**  
両日とも 9:00~16:00  
場所 **HIROHAI 佐伯総合スポーツ公園 野球場**  
廿日市津田545番地

**11/29日**  
あの花巻東高校女子野球部が  
やってくる!  
第一試合  
佐伯高校女子野球部 vs 花巻東高校女子野球部  
(10:00 プレイボール)  
第二試合  
廿日市市女子野球選抜 vs 花巻東高校女子野球部  
(12:30 プレイボール)

**11/30日**  
**Veryカーブ! RCCトークショー**  
現役カーブ選手によるトークショー 10:00~  
現役カーブ選手やカーブOBによる野球教室  
受付10:00~ 授業開始11:00~  
**廿日市市女子野球選抜 vs カーブOBチーム**  
**エキシビジョンマッチ**  
(13:30 プレイボール)

私たちが廿日市市女子野球タウンを応援しています  
小島建興株式会社 | iiiムロオ | HAKARIPO-DAISO



### 3) 学生ボランティア部門の活動

#### 認知症サポーター養成講座

##### <事業評価>

認知症サポーターは、認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けし、認知症高齢者等にやさしい地域づくりに貢献するために、養成されている。本学学生に対し、看護職として地域で生活する認知症の人とその家族への支援方法について理解を深めることができることに加えて、認知症の人やその家族を支援する地域住民の一員として、活動できることを期待し、廿日市市社会福祉協議会との共催のもと、1年生を対象に開催した。講師として廿日市市キャラバン・メイトのメンバーを講師に迎え、①認知症サポーター養成講座とは ②原因疾患別の行動・心理状態の特徴 ③認知症になりにくい生活 ④認知症の人の「内的世界」を理解する事例演習 ⑤DVD鑑賞を通して学んだ。参加者は、学生 139 名であった。講義の満足度は、大変よかった、よかったが 96.4%であった。また、認知症サポーターの役割と何をすればよいかの理解度：よくわかった、わかったが 94.9%を占めていた。認知症のある方に対して、受講前は、関わり方がわからない、介護する周囲が大変、怖いというイメージがあったが、受講後は、認知症の方の言動には意味がある、一人の人間として捉え、理解し寄り添うことが大切であることを理解していた。また、認知症サポーターとして、認知症のある方と積極的に接し、見守りやサポートを行っていききたいという意見が多かった。参加者全員に対し、認知症サポーターの印である、「認知症サポーターカード」を交付された。講座への参加によって、学生や地域住民の方々が認知症への理解を深め、実際の地域での支援へと繋げてほしいという目的は達成されたといえる。



##### <今後の課題>

本講座は一般向けのわかりやすい内容であり、参加者にとって、認知症の方への偏見の払拭や接し方の理解につながっていたといえる。今後も、社会福祉協議会、廿日市市地域包括ケア推進課と協働し、本学 1 年生を対象に、同様の時期に開催をする。

## ゲートキーパー養成講座

### <事業評価>

ゲートキーパー養成講座は、学生が自殺予防対策への理解を深め、その視点を学生生活や将来の職務に活かしてもらうこと、また、コロナ禍を経験した学生にセルフケアの手法について学んでもらうことを目的として今回はじめて開催された。内容としては、①廿日市市健康福祉部健康福祉総務課健康づくり係より、ゲートキーパーの必要性の説明 ②広島大学保健管理センター長 岡本百合氏の講演 ③グループワーク ④グループごとにディスカッションして発表、最後に学生からの感想や質問を受けた。3人が1グループとなり準備されたシナリオを基にグループワークを行い、ディスカッションシートを使用してディスカッション後、グループごとに発表を行なった。このディスカッションではいろいろな学びがあり、相談者に対する寄り添いが必要な場合にはゲートキーパーとしていつでも話を聴く姿勢をつくりたいという学生もいた。

参加者は、学生16名、教員1名の合計17名であった。参加した学生へのアンケートでは、講座を受けた満足度：満足、概ね満足が95.5%、講座の時間：適当であるが68.2%、『ゲートキーパー』という言葉の認知度：知らないが81.8%を占めていた。また、今回の講座を受けて取り組んでいきたいこと、意識していきたいことがあると回答した学生が90.9%だった。講座への参加によって、ゲートキーパーの必要性を理解し、実際に活用や支援へと繋げてほしいという目的は達成されたといえる。



### <今後の課題>

本講座の受講により精神的に負担がかかる学生もいるため、事前に内容を伝えて参加の呼びかけを行なう必要がある。また、今後の学生生活を過ごす上で、入学後の1年生を含め、多くの学生に参加して欲しい。今年度は定期券最終日に開催したが、今後は講義期間に開催できるよう調整する。



## 学生へのボランティア活動の推進

令和 4（2022）年度から、学生ボランティアやイベントの参加募集の総合窓口として学外のニーズと学生のマッチングを組織的に行うことを目的に活動を開始し、昨年度と同様に学生へのボランティア活動を推進している。

方法としては、ヒューマンケアリングセンターが主に廿日市市や、市内の団体と連携し、学内での募集サイトでボランティアやイベントの参加募集の告知を行っているため、学生はスムーズに閲覧できるようになった。内容に応じて、学生が応募用入力フォームで申し込み、学内でとりまとめて団体等への申し込みを実施するなど、スムーズな参加ができるようにした。また、活動用のユニフォームの支給など学生の活動をバックアップしている。

参加した学生は、ボランティア活動参加後に学びや気づきなどをヒューマンケアリングセンターに報告し、ヒューマンケアリングセンターは、さらなるボランティア活動を奨励するためまた交通費の代替として一律 QUO カードを進呈した。

学生ボランティアの募集依頼は 80 件と昨年度より減少した。また、病院や教育、医療介護等に関連するアルバイト 13 件の紹介を行った。

ボランティア活動への意識を高めるために、1 年生を対象にボランティア講習会を開催した。昨年度同様、ボランティア講習会を受講した 1 年生の活動者数が多かった。

## 学生のボランティア活動の実績（抜粋）・アルバイト情報（抜粋）

### ボランティア

活動日	ボランティア 内容	人数 (人)	学生の感想 (一部抜粋)
4月5日	「グループホーム 三滝ひまわり春祭 りのサポート」	6	三滝ひまわりに入居しておられる方と外に行くときに、車椅子で移動したり、肩をかしたりと看護で学んだことを実際に生かす場面があった。移送の演習をしたが、実技だけでなく事故が起こらないためにも声かけがとても大切だと感じた。その方を安心して移送するだけでなく、自分自身も一つ一つの動作に緊張感を持って行うことが大切だと学んだ。
5月11日	「竹の子の会」 15番目の染色体に 異常があるプラダ ーウィリー症候群 の子のサポート	3	発達が遅れた子どもたちの言語を読み取ることが難しかったが、一生懸命伝えようとしていることを意識し、言語だけではなく表情から読み取ることの大切さを学べた。

6月7日・6月8日	「こどもがつくるまち@大野みんなのまつり」	6	小学生の子供は活発な子供も入れればまだ両親から離れることが出来ない子供もいて幅広く成長が分かれているなと思った。しかし、友達がいなくても直ぐにコミュニケーションを通して周りとの仲良くなっていく様子や積極的に仕事をこなす様子を見て子供ならではの距離感や主体性を学ぶことが出来た。
6月9日	「光の園バザー」	14	フリーマーケットではたくさんのお客さんがいろいろなものを買うので、早く丁寧に袋詰めすることが大切だと思った。また、臨機応援に対応することが大切だと分かった。
7月9日	「七尾中学校 体験学習」のサポート	7	自分自身で妊婦さんの大変さを感じ取った内容の発言をしている生徒が多くいてすばらしいと思った。また、積極的な質問がたくさんあり、私たちもとても刺激になった。
7月12日	「626 ヤング街頭キャンペーン(薬物乱用防止啓発活動)」のサポート	3	正しい知識の不足や、気軽な気持ちでの使用が多い若者の薬物乱用は他人事ではないと薬物の危険性を身近なものとして捉え直すことができた。看護学生として看護師は病気の治療だけでなく、予防や啓発がとても大切な役割になる職業だと改めて思った。街頭で募金や啓発資料を配布しながら、地域の方々と直接ふれあう中で、健康な社会づくりに貢献する喜びも感じることができた。
8月3日	「ピースジャズコンサート in 宮園」	1	初めて訪れる地域、慣れない環境での参加でボランティアが1人だったのでとても緊張した。ジャズは、あまり触れる機会がなかったが、ベトナム戦争や阪神・淡路大震災など平和への願いが込められた曲で生演奏の迫力と、歌声やピアノが心に真っ直ぐ入ってくる優しさがあり、地域の方々と音楽を通じて温かい時間を共有でき、とても良い経験になった。
9月7日	「第19回廿日市市・大竹市 障がい者ふれあい交流スポーツ大会」	11	ボランティア活動を通して、障がい者がスポーツを通じて交流を図る場面を感じると共に、スポーツという平等性を学ぶことができた。また、自分自身も実際に参加し、障害スポーツの楽しさを実感することができた。また、障害があっても工夫をすることで公平に戦うことができることに気づいた。

9月25日	「令和7年度 地域の笑顔とクロスする！元気プロジェクト 第1回」サポート	5	参加者の皆さんは、自分の健康にとっても興味があることが分かった。特に、血圧を測る前にいつも血圧はどのくらいかを聞くとすぐに答えられていたし、測ったあとも値をすぐ聞いていてメモをする人もいた。講義の中で、問診時に伝えるべき項目について、お薬手帳みたいなノートがあれば便利だと思った。
10月25日	「令和7年 健康フェスタ in フジグランタリー」学生ボランティア	2	高齢者の方や小さな子供が来場し、実際に心肺蘇生法や AED を使用することが難しいことに気づいていた。心肺蘇生法や AED の使用方法の説明をする時、自分自身も復習することができたと思うが、もっと練習することも必要だと感じた。
11月3日	「子どもまつり」のサポート	13	小学校高学年の子から幼児まで幅広い年代の子どもが参加しており、ルール説明の時の言葉遣いに気がつけた。最初は恥ずかしそうにしていた子も、「がんばって！」「もう少し！」などの声掛けをすると、笑顔で挑戦する姿が見られた。声掛け一つで子どものやる気や安心感が大きく変わることに気づき、言葉の力の大きさを実感した。
11月22日・ 11月23日	「第18回ピースウォーカーひろしま ツーデー in 廿日市」の運営サポート	6	県外から来る方も多く、幅広い年代の人と話すことができた。また朝早かったが、参加者の服の薄さに驚いた。やはりこのような活動に参加している人は何歳でも体が元気なのだと感じた。
12月13日	「親子ふれあいウォーキング」のサポート	6	参加してくれた子供たちは活発的で自分のことをよく話してくれる印象を受けた。また親子で仲がいいなと思った。話している時になんだったっけとなった時にはすぐ親に聞いて、頼っていて家族の結びつきは強くて素敵だなと感じた。何でも話せる関係は日頃のコミュニケーションが大切なんだと子供たちと話すことを通して学んだ。
12月13日	廿日市市障害者福祉協会主催「第22回クリスマス会」のサポート	5	障害を持つ方との交流は初めてだったので緊張があった。参加者にどのような感情や気持ちの変化があるのかが理解でき、とても貴重で良い経験になった。地域の人々の力がないとこんな会は開くことができないし、交流もないと思うので地域の人々の力があることによって行われると改めて気づいた。

2月16日	阿品台いきいき健康づくり講座「ちょっとしたけがの応急手当」のサポート	2	地域の人々に向けた一大イベントとして、様々な業者や協議会の方などの連携があった上で成り立っている祭りであることを実感した。地域住民との貴重な交流の場として、円滑な進行を図れるよう各々の役割を果たした上で、積極的に自ら仕事や手伝いを探す自主性が必要であると感じた。
毎週木曜	夢あじなサロン		阿品台市民センターで開催されているサロンで、百歳体操を実施したり、食事を通して交流
第2・4木曜	すくすくサロン(子育てサロン)		サロンのサポート 子どもの遊び相手 お母さんの話相手 季節の行事(クリスマス会など)
第1・3金曜	0歳児のママ達のさわやかサロン		サロンのサポート 子どもの遊び相手 お母さんの話相手 季節の行事(クリスマス会など)
第1・3土曜	お茶の間サロン「だんだん」		健康だんだん体操 企画イベント 食事とおしゃべり

#### アルバイト

年間	b & g 廿日市+ (ピーアンドジーはつかいちプラス)		「家でも学校でもない第三の居場所」として児童の学習・生活習慣の形成・遊びの見守りを行う
年間	JA 広島総合病院		看護補助業務
年間	広島県赤十字血液センター		献血ルーム「ピース」「もみじ」における献血者の受入・接遇及び推進業務等
年間	広島市民病院		看護補助業務
年間	大野浦病院		看護アシスタント
夏休み	廿日市市放課後児童クラブ		児童の学習・遊びの見守り
夏休み	広島市立北部医療センター安佐市民病院		看護補助業務



## 学内教員の社会活動

### 朝原 秀昭

#### 【社会活動】

朝原秀昭 (2025). 委員長. 認知症初期集中支援チーム検討委員会, 廿日市市役所, 廿日市市.

### 伊藤 渚未

#### 【学会発表】

伊藤渚未 (2025). 中学校における性教育の実態と包括的性教育の充実に向けた提言. 第 44 回日本思春期学会総会・学術集会, 旭川市.

#### 【社会活動】

伊藤渚未 (2025, 6). 講師. 中学生に対する性教育, 廿日市市立阿品台中学校, 廿日市市.

伊藤渚未 (2025, 10). 講師. 小学生に対する性教育, 府中町立府中南小学校, 安芸郡府中町.

### 今田 菜摘

該当なし

### 上園 愛

#### 【学会発表】

百田武司, 奥村ゆかり, 中村敦子, 渡邊聡美, 竹倉晶子, 中信利恵子, 松本由恵, 山本浩子, 上園愛, 松原みゆき (2025). 合格を実習の履修要件とした、3年次全学生対象の実習前 OSCE への取り組み. 日本看護学教育学会第 35 回学術集会, 北見市.

#### 【学外からの研究助成】

上園愛, 戸村道子, 木村幸生. 修正型電気けいれん療法を受ける患者への看護実践モデルの構築. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究 C (一般), 令和 7 - 9 年度.

### 奥村 ゆかり

#### 【学会発表】

奥村ゆかり (2025). プレコンセプションケアの視点を取り入れた中学校性教育の現状と課題. 日本思春期学会第 44 回学術集会, 旭川市.

奥村ゆかり (2025). 合格を実習の履修要件とした 3 年次全学生対象の実習前 OSCE への取り組み. 日本看護教育学会第 35 回学術集会, 交流集会, 北見市.

#### 【社会活動】

- 奥村ゆかり (2025). 日本助産学会専任査読委員. 日本助産学会.
- 奥村ゆかり (2025, 5). 講師. 中学生に対する性教育, 岩国市立川下中学校, 岩国市.
- 奥村ゆかり (2025, 6). 講師. 中学生に対する性教育, 廿日市市阿品台中学校, 廿日市市.
- 奥村ゆかり (2025, 6). 講師. 中学生に対する性教育, 岩国市立灘中学校, 岩国市.
- 奥村ゆかり (2025, 6). 講師. 青年に対する性教育, 三次商工会議所, 三次市.
- 奥村ゆかり (2025, 6). 講師. 健康講座「骨盤のゆるみ肩こり解消のためのエクササイズ」, 阿品市民センター, 廿日市市.
- 奥村ゆかり (2025, 7). 講師. 中学生に対する性教育, 岩国市立玖珂中学校, 岩国市.
- 奥村ゆかり (2025, 8). 講師. 新人助産師集合研修, 広島県看護協会, 広島市.
- 奥村ゆかり (2025, 9). 講師. 小学生に対する性教育, 府中町立府中南小学校, 安芸郡府中町.
- 奥村ゆかり (2025, 10). 講師. 中学生に対する性教育, 岩国市立平田中学校, 岩国市.
- 奥村ゆかり (2025, 11). 講師. 中学生に対する性教育, 岩国市立麻里布中学校, 岩国市.

#### 金藤 亜希子

##### 【社会活動】

- 金藤亜希子 (2025). 委員. 健康ひろしま 21 圏域計画推進ワーキング, 広島県西部地域保健対策推進協議会, 広島県.
- 金藤亜希子 (2025, 10). 客員准教授. 地域作業療法学演習, 広島大学, 広島市.

#### 亀石 知美

##### 【学術雑誌等掲載論文】

- 中村もとゑ, 水馬朋子, 村田由香, 渡邊智恵, 高田洋介, 宗内桂, 亀石知美, 若林彰子 (2025). 広島県廿日市市の小学校における防災教育の現状. 日本赤十字広島看護大学紀要, 25, 1-11.

##### 【社会活動】

- 亀石知美 (2025). 教育担当理事. 山口県助産師会, 山口市.
- 亀石知美 (2025, 6). 講師. 健やかな学校生活を送るために, 廿日市市立阿品台中学校, 廿日市市.
- 亀石知美 (2025, 7). 委員 (山口県助産師会委託). 山口県道徳教育推進会議, 山口県教育会館, 山口市.
- 亀石知美 (2025, 7). 講師. 健やかな学校生活を送るために, 岩国市立川下中学校, 岩国市.

亀石知美 (2025, 7). 講師. 健やかな学校生活を送るために, 岩国市立灘中学校, 岩国市.

亀石知美 (2025, 7). 講師. 性教育, 思春期の生と性, 山口県立岩国高等学校 坂上分校, 岩国市.

亀石知美 (2025, 7). 相談者. ネウボラ事業, 大島子育てセンター, 周防大島町.

亀石知美 (2025, 9). 相談者. ネウボラ事業, 子育て支援センターネットワークぽけっと, 岩国市.

亀石知美 (2025, 10). 実行委員長. 中国四国地区研修会助産師会, 山口市.

亀石知美 (2025, 10). 講師. 健やかな学校生活を送るために, 岩国市立平田中学校, 岩国市.

亀石知美 (2025, 11). 講師. 健やかな学校生活を送るために, 岩国市立麻里布中学校, 岩国市.

亀石知美 (2025, 12). 相談者. ネウボラ事業, 子育て支援センターネットワークぽけっと, 岩国市.

## 川西 美佐

### 【学術雑誌等掲載論文】

Yoshida, F., Conti, G. J., Yamauchi, T., & Kawanishi, M. (2025). Development and Validation of a ShortForm Inventory to Identify Philosophy of Education in Japan: Learning & Educator Nurturing Style (LENS). *Journal of Education and Learning*, 14 (5), 1-25.

### 【学会発表】

日本赤十字看護学会編集委員会, 本田多美枝, 川西美佐, 吉田和美, 近末清美, 田中孝美, 阿部オリエ, 木下真吾, 小林尚司, 谷口千絵, 松本佳子 (2025). あなたが学会発表した実践報告は第2章へ続きます～論文投稿のススメ～. 日本赤十字看護学会第26回学術集会, 福岡市.

### 【社会活動】

川西美佐 (2025). 教育推進部会委員. 学校法人日本赤十字学園赤十字の教育研究推進委員会.

川西美佐 (2025). 評議員. 日本赤十字看護学会.

川西美佐 (2025). 編集委員. 日本赤十字看護学会編集委員会.

川西美佐 (2025, 2, 4, 6). 講師. 看護研究指導, 松江赤十字病院, 松江市.

川西美佐 (2025, 11-12). 非常勤講師. 広島県立広島皆実高等学校専攻科, 広島市.

### 【学外からの研究助成】

川西美佐, 三輪晃子, 川畑貴寛. 看護大学と病院の連携によるヒューマンエラー防止教育プ

プログラムの開発と効果検証. 学校法人日本赤十字学園 赤十字と看護・介護に関する研究助成, 令和7-8年度.

吉田文子, 山内豊明, 川西美佐. 教育観尺度 (日本語版) の開発: 教育観とティーチングスタイル選択との関係. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究C (一般), 令和5-9年度.

## 川畑 貴寛

### 【社会活動】

川畑貴寛 (2025). 準備実行委員. 日本質的心理学会第22回大会, 東広島市.

川畑貴寛 (2025). JANS 若手の会「エリア・コーディネーター」. 日本看護科学学会.

### 【学外からの研究助成】

川畑貴寛. VR 技術を活用した看護基礎教育における急変対応プログラムの開発. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究C (一般), 令和3-7年度.

## 木下 真吾

### 【著書】

百田武司, 木下真吾 (看護監修) (2025). 岡崎貴仁, 青木志郎 (編), かんテキ 脳神経 第2版: 患者がみえる新しい「病気の教科書」. メディカ出版.

百田武司, 木下真吾 (2025). 意識障害. 岡崎貴仁, 青木志郎 (編), かんテキ 脳神経 第2版: 患者がみえる新しい「病気の教科書」(pp.391-395). メディカ出版.

百田武司, 木下真吾 (2025). 頭蓋内圧亢進. 岡崎貴仁, 青木志郎 (編), かんテキ 脳神経 第2版: 患者がみえる新しい「病気の教科書」(pp.396-399). メディカ出版.

百田武司, 木下真吾 (2025). 頭痛. 岡崎貴仁, 青木志郎 (編), かんテキ 脳神経 第2版: 患者がみえる新しい「病気の教科書」(pp.400-402). メディカ出版.

百田武司, 木下真吾 (2025). 運動麻痺. 岡崎貴仁, 青木志郎 (編), かんテキ 脳神経 第2版: 患者がみえる新しい「病気の教科書」(pp.403-407). メディカ出版.

百田武司, 木下真吾 (2025). 嚥下障害. 岡崎貴仁, 青木志郎 (編), かんテキ 脳神経 第2版: 患者がみえる新しい「病気の教科書」(pp.408-411). メディカ出版.

百田武司, 木下真吾 (2025). 高次脳機能障害. 岡崎貴仁, 青木志郎 (編), かんテキ 脳神経 第2版: 患者がみえる新しい「病気の教科書」(pp.412-414). メディカ出版.

百田武司, 木下真吾 (2025). けいれん. 岡崎貴仁, 青木志郎 (編), かんテキ 脳神経 第2版: 患者がみえる新しい「病気の教科書」(pp.415-419). メディカ出版.

百田武司, 木下真吾 (2025). 忙しくてもできる 看護研究のはじめ方 ③データのまとめ方 編: 専門用語・実施方法がしっかり身につく!. メディカ出版.

【学術雑誌等掲載論文】

百田武司, 佐藤美紀子, 木下真吾, 大西奈緒, 山本義昭, 木村勇喜, 山本知世, 橋千恵, 木村幸恵, 宮脇健介, 杉町英子 (2025). 看護記録の基礎知識 誤解に気をつけたい略語・造語・記号と私たちの工夫. Brain Nursing, 41 (5), 608-612.

木下真吾 (2025). SOAP 形式で簡潔で正確な記録を作成する. Brain Nursing, 41 (5), 613-618.

【学会発表】

Takeshi Hyakuta, Shingo Kishita, Yasuko Yokoi, Yuki Iiyama (2025). Implementation of Nursing Care to Enhance ADL in Daily Life Support for Patients with Mild Stroke and Its Related Factors: A Study Using Decision Tree Analysis. 27th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS 2025) Conference, Seoul.

百田武司, 木下真吾, 横井靖子, 飯山有紀 (2025). 中等度脳卒中患者の ADL 強化に向けた看護ケアの実施と関連要因—決定木分析による検討—. 日本老年看護学会第 30 回学術集会, 千葉市.

百田武司, 木下真吾, 横井靖子, 飯山有紀 (2025). 重度脳卒中患者の ADL 強化に向けた看護ケアの実施と関連要因—決定木分析による検討—. 第 45 回日本看護科学学会学術集会, 新潟市.

本田多美枝, 川西美佐, 吉田和美, 近未晴美, 田中孝美, 阿部オリエ, 木下真吾, 小林尚司, 谷口千絵, 松本佳子 (2025). あなたが学会発表した実践報告は第 2 章へ続きます～論文投稿のススメ～. 第 26 回日本赤十字看護学会学術集会, 福岡市.

【社会活動】

木下真吾 (2025). 理事. 一般社団法人日本脳神経看護学会.

木下真吾 (2025). 会長. 一般社団法人日本脳神経看護学会中国地方部会.

木下真吾 (2025). 査読委員. 一般社団法人日本脳神経看護学会.

木下真吾 (2025). 社会貢献・広報委員. 一般社団法人日本脳神経看護学会.

木下真吾 (2025). 庶務担当. 一般社団法人日本脳神経看護学会.

木下真吾 (2025, 1 - 6). 社会貢献委員. 公益社団法人日本看護科学学会.

木下真吾 (2025). 編集委員. 日本赤十字看護学会.

木下真吾 (2025). 査読委員. 日本ニューロサイエンス看護学会.

木下真吾 (2025, 1). 司会. 日本脳神経看護学会中国地方部会 2024 年度第 2 回 脳神経看護教育セミナー, 日本脳神経看護学会中国地方部会.

木下真吾 (2025, 3). 講師. JANS 若手の会第 7 回中四国エリア検討会「A How to Get Grants? ～研究 / 活動資金調達プロセスを進めた経験から～」, 日本看護科学学会若手の会.

木下真吾 (2025, 7). 講師. 頭頸部外傷発生時及び心肺蘇生に関する救急時対応の教職員研修, 廿日市市立七尾中学校.

木下真吾 (2025, 10). 座長. 第 52 回日本脳神経看護学会学術集会. 口演, 札幌市.

【学外からの研究助成】

木下真吾. VR を活用した脳卒中患者の日常生活動作を強化する看護ケア実践プログラムの開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 (若手研究), 令和 4 – 7 年度.

百田武司, 木下真吾, 横井靖子, 飯山有紀. 脳卒中患者の日常生活動作を強化する看護ケアプログラムの有効性検証の多施設共同試験. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究 B (一般), 令和 4 – 8 年度.

三輪晃子, 木下真吾, 安田千香. 第 8 期 Camps アクセラレーションプログラム. 令和 6 – 7 年度.

## 木村 幸生

【社会活動】

木村幸生 (2025). ボランティア. メンタルヘルス・食品衛生管理, 社会福祉法人交響, 広島市.

木村幸生 (2025, 1 – 3). 支部役員幹事 (教育担当). 公益社団法人広島県看護協会廿日市支部.

木村幸生 (2025, 9). 講師. 高校生に対する進路相談, 広島県瀬戸内高等学校, 広島市.

【学外からの研究助成】

相馬俊彦, 古村健太郎, 橋本剛明, 梁庭昌, 宮川裕基, 木村幸生. 集合的効力感が DV 抑制機能を果たす条件の解明: 社会生態的な予防介入に向けて. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究 B (一般), 令和 5 – 9 年度.

上園愛, 戸村道子, 木村幸生. 修正型電気けいれん療法を受ける患者への看護実践モデルの構築. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究 C (一般), 令和 7 – 9 年度.

## 是澤 あずさ

【社会活動】

是澤あずさ (2025, 10). 講師. 中学生に対する性教育, 岩国市立平田中学校, 岩国市.

是澤あずさ (2025). 委員. 健康危機管理委員会, 公益社団法人広島県看護協会, 広島市.

## Simon Capper

【学術雑誌等掲載論文】

Capper, S. (2025). An Interview with a Japan-Trained Nurse Currently Working in

the United Kingdom. *Nursing English Nexus*, 9 (2) , 63-67

Porter, M., Levine-Ogura, J. Y., MacCallum, H., Mathieson, P., Capper, S., & Pauly, M. (2025). Enhancing English Instruction for Japanese Nursing Students. In B. Lacy, M. Swanson, & P. Lege (Eds.), *Moving JALT Into the Future: Opportunity, Diversity, and Excellence*. JALT. <https://doi.org/10.37546/JALTPCP2024-29>

【学会発表】

Capper, S. (2025). Enhancing Student Engagement in Nursing English Through Perceptia's Online Learning System and Quizlet. 8th Conference of Japan Association for Nursing English Teaching (JANET) , Hamamatsu.

【社会活動】

Capper, S. (2025) . Member-at-large. Hiroshima Chapter, JALT (The Japan Association for Language Teaching) , Hiroshima.

Capper, S. (2025) . Executive Director. JANET (Japan Association for Nursing English Teaching) ,Fukuoka.

Capper, S. (2025) . Treasurer, JANET (Japan Association for Nursing English Teaching) , Fukuoka.

## 佐々木 かよこ

該当なし

## 篠原 謙太

【学術雑誌等掲載論文】

篠原謙太, 村田由香 (2025). 血液透析患者が守りたい生活と透析による制限のある生活との折り合いをつけるための透析看護認定看護師の看護実践. *日本腎不全看護学会誌*, 27 (2), 25-34.

【学会発表】

小山貴也, 谷口弘美, 中島朋美, 篠原謙太, 鳥居芳行 (2025). となりの施設はどうしてる? Vol. 2 ~透析中の抜針予防とカテーテル管理~. 第 28 回日本腎不全看護学会学術集会 総会, 神戸市.

篠原謙太, 田村由美, 村田由香 (2025). シェント狭窄を早期発見するための多職種によるシェント観察の実態. 第 45 回日本看護科学学会学術集会, 新潟市.

【社会活動】

篠原謙太 (2025). 代議員. 日本腎不全看護学会.

篠原謙太 (2025). 理事. 日本臨床腎臓病看護学会.

篠原謙太 (2025). 委員. 日本臨床腎臓病看護学会 VA 看護管理者養成委員会.

篠原謙太 (2025). センター調査 個別調査部会 部会員. 日本医療安全調査機構 医療事故調査・支援センター.

篠原謙太 (2025, 1). 一般演題査読委員. 第 70 回日本透析医学会学術集会・総会.

篠原謙太 (2025, 1 - 11). 理事. 日本腎不全看護学会.

篠原謙太 (2025, 1 - 11). 委員長. 日本腎不全看護学会 統計調査委員会.

篠原謙太 (2025, 1 - 11). 委員. 日本腎不全看護学会 医療安全・感染対策委員会.

篠原謙太 (2025, 4 - 8). 抄録選考委員. 第 55 回日本看護学会学術集会.

篠原謙太 (2025, 5). 講師. 日本臨床腎臓病看護学会, Saturday Night セミナー, Web 開催.

篠原謙太 (2025, 6). 座長. 第 70 回日本透析医学会学術集会・総会 一般演題 (ポスター)「患者教育・指導/その他 1」, 大阪市.

篠原謙太 (2025, 6 - 7). 査読委員. 第 28 回日本腎不全看護学会学術集会・総会.

篠原謙太 (2025, 7 - 12). 委員. 日本看護管理学会 第 31 回学術集会企画委員会.

篠原謙太 (2025, 8). 講師. VA 看護管理者養成講座, 日本臨床腎臓病看護学会, 佐賀市.

篠原謙太 (2025, 11). 演者. シンポジウム 2 VA 看護を共に創る, 第 28 回 日本腎不全看護学会学術集会・総会, 神戸市.

篠原謙太 (2025, 11). 座長. 第 28 回日本腎不全看護学会学術集会・総会 一般演題口述「血液透析/VA」, 神戸市.

篠原謙太 (2025, 11). 講師. VA 看護管理者養成講座, 日本臨床腎臓病看護学会, 広島市.

篠原謙太 (2025, 11 - 12). 委員. 日本腎不全看護学会 統計調査委員会.

【学外からの研究助成】

篠原謙太, 村田由香. 多職種で活用するシャント閉塞予防に向けたシャントモニタリングプログラムの開発. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究 C (一般), 令和 4 - 7 年度.

村田由香, 宗内桂, 篠原謙太, 野村悠美子. 中堅看護師のオーセンティックリーダーシップ開発プログラムの検討. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究 C (一般), 令和 5 - 7 年度.

## 鈴木 香苗

### 【社会活動】

鈴木香苗 (2025, 7). 講師. 廿日市市立七尾中学校教職員対象危険予知トレーニング, 廿日市市立七尾中学校, 廿日市市.

## 宗内 桂

### 【学術雑誌等掲載論文】

中村もとゑ, 水馬朋子, 村田由香, 渡邊智恵, 高田洋介, 宗内桂, 亀石知美, 若林彰子 (2025).  
広島県廿日市市の小学校における防災教育の現状. 日本赤十字広島看護大学紀要, 25,  
1-11.

### 【社会活動】

宗内桂 (2025). 研究活動委員. 日本赤十字看護学会研究活動委員会.  
宗内桂 (2025). 研究助成選考委員. 日本赤十字看護学会研究活動委員会.  
宗内桂 (2025). 研究奨励賞選考委員. 日本赤十字看護学会研究活動委員会.  
宗内桂 (2025, 3). 講師. 令和6年度日本赤十字広島看護大学公開講座, 山崎本社みんな  
のあいプラザ, 廿日市市.  
宗内桂 (2025, 7-12). 企画委員. 第31回日本看護管理学会学術集会企画委員会.  
宗内桂 (2025, 8). 講師. 令和7年度新人看護職員研修事業実地指導者研修, 山口県看護  
協会, 防府市.

### 【学外からの研究助成】

村田由香, 宗内桂, 篠原謙太. 中堅看護師のオーセンティックリーダーシップ開発プログラ  
ムの検討. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究C (一般), 令和5-7年  
度.

## 高田 洋介

### 【著書】

高田洋介ほか (2025). 分野別被災者支援コーディネーション ガイドライン<多様性配慮  
>. 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク.  
高田洋介 (2025). 災害現場での看護. 大橋一友, 岩崎和子 (編), ナーシング・グラフィ  
カ看護の統合と実践④国際化と看護. (pp.86-93). メディカ出版.

### 【学術雑誌等掲載論文】

中村もとゑ, 水馬朋子, 村田由香, 渡邊智恵, 高田洋介, 宗内桂, 亀石知美, 若林彰子 (2025).  
広島県廿日市市の小学校における防災教育の現状. 日本赤十字広島看護大学紀要, 25,  
1-11.  
三輪晃子, 今井多樹子, 宗内桂, 篠原謙太, 水馬朋子, 村田由香, 門田清孝, 川畑貴寛, 高  
田洋介 (2025). 地域の視点で対象理解を育む「看護の基盤実習 I」の取り組み 第25回  
日本赤十字看護学会学術集会交流セッションを通して. 日本赤十字広島看護大学紀要,  
25, 27-29.  
Mayumi Kako, I-smail Tayfur, Perihan S\_ims\_ek, Abdülkadir Gündüz, Md Moshir

Rahman, Chie Teramoto, Yosuke Takada, Benjamin Ryan, Shelby Garner, Burcu Bayramoğlu, Tatsuhiko Kubo, Ryoma Kayano, Makiko K Macdermot, Sanjaya Bhatia, Betül Kaplan Zamanov, Sinem Güzel Öztürk, Yavuz Yiğit (2025) .Beyond Scoring on Public Health System Resilience: A Qualitative Study of the Scorecard Application.Social Science Research Network (preprint) .

<http://dx.doi.org/10.2139/ssrn.5934443>

#### 【学会発表】

矢野好美, 阿部朱美, 高田洋介 (2025). 育児休業を取得した父親の児との過ごし方と育児への思い —フォーカスグループインタビューを用いて. 第 14 回日本公衆衛生看護学会学術集会, 金沢市.

#### 【社会活動】

高田洋介 (2025, 1 – 3). 日本看護系大学協議会災害時の教育継続支援に向けた連携教員.

高田洋介 (2025, 1 – 3). JVOAD 多様性ガイドラインワーキンググループ.

高田洋介 (2025, 7). 講師. 地域医療防災演習, 摂南大学大学院, Web.

高田洋介 (2025, 9). 調査団員. フィリピン国 ASEAN 災害保健医療管理に係る地域能力強化プロジェクトにかかる運営指導調査, フィリピン.

高田洋介 (2025, 9). 講師. 令和 7 年度 JICA 国別研修「中南米災害医療マネジメント」, 神戸市.

高田洋介 (2025, 10). 講師. タイ「ASEAN 災害保健医療管理に係る地域能力強化プロジェクト」2025 年度国別研修「ASEAN 災害保健医療管理」, 吹田市.

高田洋介 (2025). 日本赤十字国際人道研究センター研究員.

高田洋介 (2025). 日本災害医学会研修システム開発特別委員会委員.

高田洋介 (2025). 日本災害医学会広報委員会委員.

高田洋介 (2025). 日本災害医学会評議員.

高田洋介 (2025). 日本災害医学会災害調査評価委員会委員.

高田洋介 (2025). ASEAN Journal of Disaster Health Management 査読委員.

高田洋介 (2025). Disaster Medicine and Public Health Preparedness Associate Editor.

高田洋介 (2025). Japanese Journal of Disaster Medicine 査読委員.

高田洋介 (2025). Journal of Disaster Research 査読委員.

高田洋介 (2025). 地域安全学会査読委員.

高田洋介 (2025). 減災復興学研究査読委員.

高田洋介 (2025). 日本災害看護学会誌編集委員.

高田洋介 (2025). 第 31 回日本災害医学会総会・学術集会査読委員.

高田洋介 (2025). 長野県高森町防災アドバイザー.

高田洋介 (2025). 国連人道問題調整事務所 UNDAC (国連災害評価調整) メンバー.  
高田洋介 (2025). 独立行政法人国際協力機構 ASEAN 災害保健医療管理に係る地域能力  
強化プロジェクト国内支援委員.  
高田洋介 (2025). 独立行政法人国際協力機構国際緊急援助隊医療チーム登録メンバー.  
高田洋介 (2025). 災害人道医療支援会理事.  
【学外からの研究助成】  
高田洋介. 災害時にモスクを活用したムスリムの尊厳を守る避難生活支援体制の構築. 日本  
学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 令和 7 - 12 年度.

### **竹倉 晶子**

#### **【社会活動】**

竹倉晶子 (2025). 委員. 廿日市市学校給食センター運営会議, 廿日市市教育委員会, 廿日  
市市.  
竹倉晶子 (2025). 査読委員. 日本赤十字看護学会.  
竹倉晶子 (2025, 7 - 12). 講師. 看護研究指導, 広島県看護協会, 広島市

### **田村 由美**

#### **【著書】**

Yumi Tamura, Yuka Murata (2025) . Chapter2. Theoretical Foundations of Team-  
based HealthCare, in Fujitani K. and Prentice D. Edi. Promoting Integrated  
Healthcare Systems Through Team-Based Healthcare, IGI Global (eBook) .

#### **【学会発表】**

浅川菜摘, 田村由美, 村田由香 (2025). 退院支援カンファレンスにおける多職種連携の実  
態と多職種連携コンピテンシーとの関連. 第 26 回日本赤十字看護学会学術集会, 福岡市.  
田村征子, 田村由美, 村田由香 (2025). ICU における看護師のケアリング特性の実態と  
背景要との関連. 第 21 回日本クリティカルケア看護学会学術集会, 江東区.  
篠原謙太, 田村由美, 村田由香 (2025). シヤント狭窄を早期発見するための多職種による  
シヤント観察の実態. 第 45 回日本看護科学学会学術集会, 新潟市.  
藤井聡美, 田村由美, 村田由香 (2025). キャリア初期看護師の職業経験とプロフェッショ  
ナリズムとの関連. 第 45 回日本看護科学学会学術集会, 新潟市.

#### **【社会活動】**

田村由美 (2025). 評議員. 日本赤十字学園.  
田村由美 (2025). 委員長. 教育 DX 推進委員会, 日本赤十字学園.  
田村由美 (2025). 委員. 赤十字の教育研究推進委員会, 日本赤十字学園.

田村由美 (2025). 委員. 研究助成・学生支援委員会, 日本赤十字学園.

田村由美 (2025). 議長. 学部長・研究科長会議, 日本赤十字学園.

田村由美 (2025). 評議員. 日本看護学教育学会.

田村由美 (2025). 会員校代表. 日本看護系大学協議会.

田村由美 (2025). 会員校代表. 日本私立看護系大学協会.

田村由美 (2025). 代議員. 日本看護科学学会.

田村由美 (2025). 理事. 放射線被曝者医療国際協力推進協議会.

田村由美 (2025). 理事. 教育ネットワーク中国.

田村由美 (2025). 組織会員. 日本災害看護学会.

田村由美 (2025). 委員. 廿日市市保健福祉審議会.

田村由美 (2025). 委員. 廿日市市総合計画審議会.

田村由美 (2025, 1). 講師. 広島赤十字・原爆病院 教育講演会, 広島赤十字・原爆病院, 広島市.

田村由美 (2025, 5 -10). 講師. 師長のためのリフレクション①～⑤, 日本赤十字広島看護大学ヒューマンケアリングセンター, 廿日市市.

田村由美 (2025, 6). 講師. リフレクションの概念, 日本赤十字広島看護大学ヒューマンケアリングセンター臨床指導者研修会, 廿日市市.

田村由美 (2025, 6). 非常勤講師. 早期体験学習 IPW 講座, 神戸薬科大学, 神戸市.

田村由美 (2025, 7). 講師. リフレクション:実践の振り返りから看護の質を高める, 愛媛県がん診療連携協議会, 松山市.

田村由美 (2025, 7). 研修アドバイザー. 多職種連携協働(チーム医療)の推進にかかる研修会, 鳥取赤十字病院, 鳥取市.

田村由美 (2025, 8). 講師. Becoming Reflective 看護師長, 愛媛県看護協会, 松山市.

田村由美 (2025, 9 -10). 講師. ひとと組織の成長を促す看護におけるリフレクション, 広島県看護協会, 広島市.

## 戸村 道子

### 【社会活動】

戸村道子 (2025). 委員. こころの健康づくり委員会, 健康はつかいち 21 推進協議会, 廿日市市.

Tomura, M. (2025). Nursing Ethics, Sage Journal 査読委員.

### 【学外からの研究助成】

上園愛, 戸村道子, 木村幸生. 修正型電気けいれん療法を受ける患者への看護実践モデルの構築. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究C (一般), 令和7 - 9年度.

田上美千佳, 鈴木美央, 寺岡征太郎, 片山健吾, 戸村道子. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究B (一般), 令和5 - 10年度.

## 中信 利恵子

### 【学会発表】

加賀美千津, 今津陽子, 笠谷美保, 風間郁子, 岸田さな江, 佐藤大介, 中信利恵子, 山田希, 益満陽子 (2025). 交流集会 SIG 災害看護企画 災害時にがん患者を支える看護師のサポート～能登地震における被災活動の経験を聴いて考えてみよう～. 第39回日本がん看護学会学術集会, 札幌市.

木之下護, 中信利恵子 (2025). 地震災害の支援経験を持つ看護師が認識している支援活動を想定した看護師個人の備え. 日本災害看護学会第27回年次大会, 渋谷区.

今津陽子, 森下安子, 中信利恵子, 松尾香織, 濱舘陽子 (2025). 学会企画1 災害看護倫理検討委員会災害看護と研究倫理～あなたの悩みにお答えします～. 日本災害看護学会第27回年次大会, 渋谷区.

百田武司, 奥村ゆかり, 中村敦子, 渡邊聡美, 竹倉晶子, 中信利恵子, 松本由恵, 山本浩子, 上園愛, 松原みゆき (2025). 交流セッション, 合格を実習の履修要件とした、3年次全学生対象の実習前 OSCE への取り組み. 日本看護学教育学会 第35回学術集会, 北見市.

### 【社会活動】

中信利恵子 (2025). 査読委員. 日本災害看護学会.

中信利恵子 (2025). 和文誌専任査読委員. 日本看護科学学会.

中信利恵子 (2025). 専任査読者. 日本糖尿病教育・看護学会.

中信利恵子 (2025, 4 - 6). 査読委員. 第30回日本糖尿病教育・看護学会学術集会.

中信利恵子 (2025). 査読委員. 高知県立大学看護学会.

中信利恵子 (2025). 委員. 災害看護倫理検討委員会, 日本災害看護学会.

中信利恵子 (2025). 委員. 研究倫理審査会, 日本災害看護学会.

中信利恵子 (2025). メンバー. SIG 災害看護 (特別関心活動グループ), 日本がん看護学会.

中信利恵子 (2025). メンバー. ネットワーク活動・調査調整部, 日本災害看護学会.

中信利恵子 (2025, 5 - 12). 企画委員. 日本災害看護学会第28回年次大会.

### 【学外からの研究助成】

中信利恵子. 通院治療を行うがん患者と看護師の災害への備えと看護に関する基礎的研究. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究C (一般), 令和2 - 7年度.

## 中村 敦子

### 【社会活動】

- 中村敦子 (2025). 講師. 岩国市子育て推進班事業, ベビーマッサージ, 岩国市.
- 中村敦子 (2025). 事務局. 中四国 M-GTA 研究会, 広島市.
- 中村敦子 (2025). 委員. 日本私立看護系大学協会, 国際交流委員会, 千代田区.
- 中村敦子 (2025). 専任査読者. 日本助産学会.
- 中村敦子 (2025, 1). 講師. 第3回地域の笑顔とクロスする元気プロジェクト, 日本赤十字広島看護大学, 廿日市市.
- 中村敦子 (2025, 4). 議長. 一般社団法人広島県助産師会総, 広島市.
- 中村敦子 (2025, 5). 講師. 中学生に対する性教育, 岩国市立川下中学校, 岩国市.
- 中村敦子 (2025, 6). 講師. 中学生に対する性教育, 岩国市立灘中学校, 岩国市.
- 中村敦子 (2025, 6). 講師. 生理に関する健康講座, 広島県商工会青年部連合会, 庄原市.
- 中村敦子 (2025, 7). 講師. 中学生に対する性教育, 岩国市立玖珂中学校, 岩国市.
- 中村敦子 (2025, 10). 講師. 小学生に対する性教育, 府中町立府中南小学校, 安芸郡府中町.
- 中村敦子 (2025, 10). 講師. 中学生に対する性教育, 岩国市立平田中学校, 岩国市.
- 中村敦子 (2025, 10). 講師. 中学生に対する性教育, 岩国市立川下中学校, 岩国市.
- 中村敦子 (2025, 11). 講師. 中学生に対する性教育, 岩国市立麻里布中学校, 岩国市.

### 【学会発表】

- 百田武司, 奥村ゆかり, 中村敦子, 渡邊聡美, 竹倉晶子, 中信利恵子, 松本由恵, 山本浩子, 上園愛, 松原みゆき (2025). 合格を実習の履修要件とした3年次全学生対象の実習前OSCEへの取り組み. 第35回日本看護教育学会学術集会, 北見市.
- 奥村ゆかり, 中村敦子 (2025). プレコンセプションケアの視点を取り入れた中学校性教育の現状と課題. 第44回日本思春期学会学術集会, 旭川市.

## 中村 もとゑ

### 【学術雑誌等掲載論文】

- 中村もとゑ, 水馬朋子, 村田由香, 渡邊智恵, 高田洋介, 宗内桂, 亀石知美, 若林彰子 (2025). 広島県廿日市市の小学校における防災教育の現状. 日本赤十字広島看護大学紀要, 25, 1-11.

### 【学会発表】

- 落久保裕子, 百田武司, 中村もとゑ, 山本浩子 (2025). 養護者による高齢者虐待における介護支援専門員の相談・通報の実態と影響要因. 老年看護学会第30回学術集会, 千葉市.
- 落久保裕子, 百田武司, 中村もとゑ, 山本浩子 (2025). 養護者による高齢者虐待に対する

介護支援専門員の判断の影響要因の検討. 日本ケアマネジメント学会第 24 回研究大会, 千葉市.

武井麻子, 大西智子, 白柿綾, 村田美和, 井野朋美, 阿部オリエ, 鷹野朋実, 中島佳緒里, 中村もとゑ (2025). 被災した赤十字看護師の体験 – 被災者が救援者になるとき. 第 26 回日本赤十字看護学会学術集会, 福岡市.

【社会活動】

中村もとゑ (2025). 幹事. 日本赤十字広島看護大学同窓会.

中村もとゑ (2025). 委員. 日本赤十字看護学会歴史研究委員会.

中村もとゑ (2025, 3). 大野健康を守るつどい, 広島県看護協会, 廿日市市.

【学外からの研究助成】

中村もとゑ, 百田武司, 山本浩子. 在宅高齢者のドライスキン改善を目指した集合型教育プログラムの効果. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究C (一般), 令和 7 – 10 年度.

## 野村 悠美子

【学会発表】

綿貫真也, 野村悠美子, 清田友貴, 久保南, 青木雄司, 藤本健二, 岡田淳子, 江戸克栄 (2025).

災害情報接触時における瞬間的情報処理 – 脳波測定による防災士と非防災士の比較研究 –. 日本災害情報学会第 31 回学会大会. 高槻市.

## 東 智子

【学会発表】

松永由紀子, 池田載子, 高原美貴, 伊藤明子, 関塚美穂, 山内万裕美, 東智子 (2025). 交流セッション「在留外国人の困りごと～在留外国人を対象にした災害への備えと支援～」. 第 26 回日本赤十字看護学会学術集会, 福岡市.

【社会活動】

東智子 (2025). 査読委員. 日本赤十字看護学会.

東智子 (2025). 国際活動委員. 日本赤十字看護学会.

東智子 (2025, 7). シンポジスト. 第 26 回日本赤十字看護学会学術集会, アクロス福岡, 福岡市.

【受賞等】

瑞宝単光章

## 百田 武司

## 【著書】

百田武司 (2025). 忙しくてもできる 看護研究のはじめ方 ①テーマの選び方編：研究デザイン & 研究計画書がしっかり組み立てられる！. メディカ出版.

百田武司 (2025). 忙しくてもできる 看護研究のはじめ方 ②データのとり方編：質問紙調査 & インタビュー調査のコツがわかる！. メディカ出版.

百田武司, 木下真吾 (看護監修) (2025). 岡崎貴仁, 青木志郎 (編), かんテキ 脳神経 第2版：患者がみえる新しい「病気の教科書」. メディカ出版.

百田武司, 木下真吾 (2025). 意識障害. 岡崎貴仁, 青木志郎 (編), かんテキ 脳神経 第2版：患者がみえる新しい「病気の教科書」(pp.391-395). メディカ出版.

百田武司, 木下真吾 (2025). 頭蓋内圧亢進. 岡崎貴仁, 青木志郎 (編), かんテキ 脳神経 第2版：患者がみえる新しい「病気の教科書」(pp.396-399). メディカ出版.

百田武司, 木下真吾 (2025). 頭痛. 岡崎貴仁, 青木志郎 (編), かんテキ 脳神経 第2版：患者がみえる新しい「病気の教科書」(pp.400-402). メディカ出版.

百田武司, 木下真吾 (2025). 運動麻痺. 岡崎貴仁, 青木志郎 (編), かんテキ 脳神経 第2版：患者がみえる新しい「病気の教科書」(pp.403-407). メディカ出版.

百田武司, 木下真吾 (2025). 嚥下障害. 岡崎貴仁, 青木志郎 (編), かんテキ 脳神経 第2版：患者がみえる新しい「病気の教科書」(pp.408-411). メディカ出版.

百田武司, 木下真吾 (2025). 高次脳機能障害. 岡崎貴仁, 青木志郎 (編), かんテキ 脳神経 第2版：患者がみえる新しい「病気の教科書」(pp.412-414). メディカ出版.

百田武司, 木下真吾 (2025). けいれん. 岡崎貴仁, 青木志郎 (編), かんテキ 脳神経 第2版：患者がみえる新しい「病気の教科書」(pp.415-419). メディカ出版.

百田武司, 木下真吾 (2025). 忙しくてもできる 看護研究のはじめ方 ③データのまとめ方編：専門用語・実施方法がしっかり身につく！. メディカ出版.

## 【学術雑誌等掲載論文】

百田武司 (2025). 〈社員学会紹介〉一般社団法人 日本脳神経看護学会 (Japanese Association of Neuroscience Nurses, JANN). 日本看護系学会協議会ニュースレター, 32, 6. <https://www.janaoffice.com/wp/wp-content/uploads/ニュースレター第32号.pdf>

宮本享, 小笠原邦昭, 橋本洋一郎, 藤本茂, 竹川英宏, 和田邦泰, 井口保之, 片岡大治, 豊田章宏, 富永悌二, 百田武司, 武田保江, 田村綾子, 大久保暢子, 野口百香, 早坂由美子, 林真紀, 星野由利子, 藤井由記代, 取出涼子, 笠松信幸, 和久美恵, 斉藤秀之, 大畑光司, 立石雅子, 深浦順一 (2025). 脳卒中相談窓口マニュアル (Version 4.0). 一般社団法人 日本脳卒中学会. [https://www.jsts.gr.jp/img/consultation\\_manual\\_ver4.0.pdf](https://www.jsts.gr.jp/img/consultation_manual_ver4.0.pdf)

百田武司 (2025). 日本脳神経看護学会のご紹介と取り組み. 京都大学医学部附属病院脳卒

- 中療養支援センター（編），京都大学医学部附属病院脳卒中療養支援センター年報 2024 - ANNUAL REPORT 2024, 16-17.
- <https://neurosurg.kuhp.kyoto-u.ac.jp/stroke/annualreport/>
- 佐藤美紀子，百田武司（2025）. 回復期リハビリテーション病棟における脳卒中後疲労と意欲低下の実態. 日本脳神経看護学会誌, 47（2）, 61-69.
- 百田武司（2025）. 時短&タイパが劇的・改善!“要点が伝わる”を意識したら、こうなる！脳外病棟の看護記録実例集 はじめに. Brain Nursing, 41（5）, 586-587.
- 百田武司（2025）. 看護記録の基礎知識 記録の役割と患者ケアへの影響. Brain Nursing, 41（5）, 592-595.
- 百田武司（2025）. 看護記録の基礎知識 看護記録の原則とルール. Brain Nursing, 41（5）, 596-601.
- 百田武司（2025）. 看護記録の基礎知識 看護記録に不適切な表現. Brain Nursing, 41（5）, 602-607.
- 百田武司，佐藤美紀子，木下真吾，大西奈緒，山本義昭，木村勇喜，山本知世，橘千恵，木村幸恵，宮脇健介，杉町英子（2025）. 看護記録の基礎知識 誤解に気をつけたい略語・造語・記号と私たちの工夫. Brain Nursing, 41（5）, 608-612.
- 橘千恵，百田武司（2025）. 脳外病棟の看護記録 患者の身体・心理にかかわる記録 外科術直後の患者. Brain Nursing, 41（5）, 631-639.
- 山本知世，百田武司（2025）. 脳外病棟の看護記録 患者の身体・心理にかかわる記録 失語と嚥下障害が残存した患者. Brain Nursing, 41（5）, 640-645.
- 大西奈緒，百田武司（2025）. 脳外病棟の看護記録 患者の身体・心理にかかわる記録 認知症のある患者. Brain Nursing, 41（5）, 646-653.
- 木村勇喜，百田武司（2025）. 脳外病棟の看護記録 患者の身体・心理にかかわる記録 怒りや攻撃性のある患者. Brain Nursing, 41（5）, 654-659.
- 山本義昭，百田武司（2025）. 脳外病棟の看護記録 患者の身体・心理にかかわる記録 脳卒中後うつのある患者. Brain Nursing, 41（5）, 660-668.
- 宮脇健介，百田武司（2025）. 脳外病棟の看護記録 ケース・状況別の記録 転倒・転落. Brain Nursing, 41（5）, 669-674.
- 杉町英子，百田武司（2025）. 脳外病棟の看護記録 ケース・状況別の記録 身体拘束. Brain Nursing, 41（5）, 675-681.
- 木村幸恵，百田武司（2025）. 脳外病棟の看護記録 ケース・状況別の記録 転院・退院調整. Brain Nursing, 41（5）, 682-687.
- 百田武司（2025）. Topics 大切はどうしている？脳神経領域の働き方改革&タスクシフト・シェア. Brain Nursing, 41（5）, 688-689.

百田武司 (2025). 卒業研究指導で“理論と実践”の架け橋となる副読本の活用について. ラポールコミュニティ, 120. メディカ出版.

【学会発表】

Takeshi Hyakuta, Shingo Kishita, Yasuko Yokoi, Yuki Iiyama (2025). Implementation of Nursing Care to Enhance ADL in Daily Life Support for Patients with Mild Stroke and Its Related Factors: A Study Using Decision Tree Analysis. 27th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS 2025) Conference, February 13-14, 2025, Seoul.

百田武司, 木下真吾, 横井靖子, 飯山有紀 (2025). 中等度脳卒中患者の ADL 強化に向けた看護ケアの実施と関連要因—決定木分析による検討—. 日本老年看護学会第 30 回学術集会, 千葉市.

落久保裕子, 百田武司, 中村もとゑ, 山本浩子 (2025). 養護者による高齢者虐待における介護支援専門員の相談・通報の実態と影響要因. 日本老年看護学会第 30 回学術集会, 千葉市.

落久保裕子, 百田武司, 中村もとゑ, 山本浩子 (2025). 養護者による高齢者虐待に対する介護支援専門員の判断の影響要因の検討. 日本ケアマネジメント学会第 24 回研究大会, 千葉市.

佐藤美紀子, 百田武司 (2025). 脳卒中患者を対象とした介入研究におけるセルフモニタリング法: スコーピングレビュー. 日本看護研究学会第 51 回学術集会, 金沢市.

百田武司, 奥村ゆかり, 中村敦子, 渡邊聡美, 竹倉晶子, 中信利恵子, 松本由恵, 山本浩子, 上園愛, 松原みゆき (2025). 合格を実習の履修要件とした、3 年次全学生対象の実習前 OSCE への取り組み. 一般社団法人日本看護学教育学会 第 35 回学術集会, 交流セッション 10, 北見市.

百田武司, 木下真吾, 横井靖子, 飯山有紀 (2025). 重度脳卒中患者の ADL 強化に向けた看護ケアの実施と関連要因—決定木分析による検討—. 第 45 回日本看護科学学会学術集会, 新潟市.

【社会活動】

百田武司 (2025). 理事長. 一般社団法人日本脳神経看護学会.

百田武司 (2025). 委員長. 一般社団法人日本脳神経看護学会 社会貢献・広報委員会.

百田武司 (2025). 委員. 一般社団法人日本脳神経看護学会 学会認定資格設立準備ワーキンググループ学会認定資格設置スケジュール、委員会規約等担当.

百田武司 (2025). 顧問. 一般社団法人日本脳神経看護学会 中国地方部会.

百田武司 (2025). 理事. 日本ニューロサイエンス看護学会.

百田武司 (2025). 社員. 一般社団法人看護系学会等社会保険連合 (加盟学会: 日本ニュー

ロサイエンス看護学会).

- 百田武司 (2025). 査読委員. 日本ニューロサイエンス看護学会.
- 百田武司 (2025). 理事. 特定非営利活動法人日本脳神経外科救急学会.
- 百田武司 (2025). 副幹事. 特定非営利活動法人日本脳神経外科救急学会 編集委員会.
- 百田武司 (2025). 社員 (代議員). 公益社団法人日本看護科学学会.
- 百田武司 (2025). 和文誌専任査読委員. 公益社団法人日本看護科学学会.
- 百田武司 (2025). 専任査読者. 一般社団法人日本看護学教育学会.
- 百田武司 (2025). 評議員. 一般社団法人日本看護研究学会.
- 百田武司 (2025). 専任査読委員. 一般社団法人日本看護研究学会.
- 百田武司 (2025). 委員. 一般社団法人日本看護研究学会 中国・四国地方会運営委員会.
- 百田武司 (2025). 委員. 一般社団法人日本看護研究学会 中国・四国地方会学術委員会.
- 百田武司 (2025). 査読委員. 一般社団法人日本老年看護学会.
- 百田武司 (2025). 代議員. 一般社団法人日本認知症ケア学会.
- 百田武司 (2025). 査読委員. 一般社団法人日本認知症ケア学会.
- 百田武司 (2025). 外部委員. 特定非営利活動法人日本脳腫瘍学会 脳腫瘍支持療法委員会.
- 百田武司 (2025). 客員教授. 広島大学医学部.
- 百田武司 (2025). 委員長. 広島市高齢者虐待防止ネットワーク事業 西区運営委員会.
- 百田武司 (2025). 委員. 廿日市市男女共同参画推進懇話会.
- 百田武司 (2025, 1 - 2). 代議員. 一般社団法人日本災害看護学会.
- 百田武司 (2025, 1 - 2). 講師. 「看護研究 I」. 広島市医師会看護専門学校, 広島市.
- 百田武司 (2025, 1 - 3). 講師. 医療法人 JR 広島病院看護部, 広島市.
- 百田武司 (2025, 1 - 9). 委員. 一般社団法人日本災害看護学会 災害看護ケアの質向上委員会.
- 百田武司 (2025, 2 - 3). 査読者. 日本老年看護学会第 30 回学術集会.
- 百田武司 (2025, 2 - 3). 査読者. 第 26 回日本認知症ケア学会大会.
- 百田武司 (2025, 2). 座長. 第 12 回日本ニューロサイエンス看護学会学術集会, 口演, Web 開催.
- 百田武司 (2025, 3). 座長. STROKE2025 (第 50 回日本脳卒中学会学術集会・第 54 回日本脳卒中の外科学会学術集会・第 41 回 SAH/ スパズム・シンポジウム). シンポジウム 01 (スパズム SY01), 大阪市.
- 百田武司 (2025, 3). 査読委員. 日本脳腫瘍学会 第 3 回脳腫瘍支持療法研究学術集会.
- 百田武司 (2025, 4 - 12). 講師. 地方独立行政法人 広島県立病院機構 県立二葉の里病院看護部, 広島市.
- 百田武司 (2025, 4 - 12). 講師. 周防大島町立大島病院看護部, 周防大島町.

百田武司 (2025, 5). 査読者. 一般社団法人日本災害看護学会第 27 回年次大会.

百田武司 (2025, 5). 座長. 第 26 回日本認知症ケア学会大会, 口頭発表, 福岡市.

百田武司 (2025, 6). 座長. 日本老年看護学会第 30 回学術集会, ポスター発表 B, 千葉市.

百田武司 (2025, 6 – 7). 査読者. 第 45 回日本看護科学学会学術集会.

百田武司 (2025, 7). 座長. 日本脳腫瘍学会 第 3 回脳腫瘍支持療法研究学術集会, シンポジウム④, 福岡市.

百田武司 (2025, 10). 講師. 「脳卒中患者への社会的な支援技術」, 熊本保健科学大学福岡キャンパス (福岡脳神経外科病院) 認定看護師教育課程 脳卒中分野, 福岡市.

百田武司 (2025, 10). 座長. 第 52 回日本脳神経看護学会学術集会, 教育講演 1, 札幌市.

【学外からの研究助成】

山本浩子, 百田武司. 焦燥性興奮のある認知症高齢者への入眠前のハンドマッサージの効果の検証と導入. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究 C (一般), 令和 2 – 6 年度.

林真二, 百田武司. 地域高齢者のオーラルフレイルを予防するための地域づくりプロジェクト. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究 C (一般), 令和 2 – 6 年度.

中村もとゑ, 百田武司. 在宅高齢者のドライスキンを改善するセルフケア教育プログラムの開発と効果. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究 C (一般), 令和 2 – 6 年度.

大久保暢子, 佐々木杏子, 南川貴子, 百田武司, 武田保江. 重度脳卒中患者に対する家族参加型背面開放座位ケアプログラムの構築と評価. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究 B (一般), 令和 3 – 7 年度.

百田武司, 木下真吾, 横井靖子, 飯山有紀. 脳卒中患者の日常生活動作を強化する看護ケアプログラムの有効性検証の多施設共同試験. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究 B (一般), 令和 4 – 8 年度.

佐藤美紀子, 百田武司. 脳卒中後疲労セルフマネジメントプログラムの効果の検証および実装システムの構築. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究 C (一般), 令和 6 – 9 年度.

中村もとゑ, 百田武司, 山本浩子. 在宅高齢者のドライスキン改善を目指した集合型教育プログラムの効果. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究 C (一般), 令和 7 – 10 年度.

林真二, 永井眞由美, 百田武司. 養介護施設におけるチームアプローチによる虐待の未然・再発防止プログラムの開発. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究 C (一般), 令和 7 – 9 年度

## 益岡 都萌

### 【学術雑誌等掲載論文】

山本康裕, 宮崎康夫, 益岡都萌, 山際あゆみ, 田邊彰洋, 津田真吾, 山上保, 津田征治, 真尾司, 清水公明, 寺澤孝文 (2025). 潜在記憶を基盤とする e-learning の学習量と高校生の英語力との関連. 日本教育工学会論文誌, 49 (3), 487-507.

Masuoka, T., Nishiyama, M., Tsurusaki, Y., & Terasawa, T. (2025). Implicit effect of visual long-term memory for nonverbal objects on recognition judgment. *Attention, Perception, & Psychophysics*, 87 (6), 1841-1951.

### 【学会発表】

田中義人, 雨野順, 寺澤孝文, 益岡都萌, 山本康裕 (2025). 学力と意欲を向上させた eラーニングドリル活用実践. 日本教育工学会 2025 年春季全国大会, 世田谷区.

### 【学外からの研究助成】

益岡都萌, 寺澤孝文. 英単語の語彙習得に関する潜在記憶の性質の解明と効果的学習方法の開発. 日本学術振興会科学研究費助成事業 基盤研究 C, 令和 5 – 7 年度.

寺澤孝文, 青木多寿子, 岡田謙介, 北神慎司, 西山めぐみ, 益岡都萌, 安永和央, 田中義人, 川崎由花, 山本康裕. 高精度教育ビッグデータ活用による、極めて困難な状況にある子どもの意欲と学力の向上. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究 A, 令和 7 – 11 年度.

## 松原 みゆき

### 【著書】

松原みゆき (2025). 慢性疾患療養者と息子×暴言と心理的虐待～タイミングのよいサービスの導入, 双極性の療養者×ごみ屋敷～セルフ・ネグレクトイの段階的な解決. 河野あゆみ (編), 訪問看護困難事例解決ガイド 教えて先輩! 対話からわかるアセスメントと対応のポイント. (pp.132-140, 157-164). 中央法規.

### 【学術雑誌等掲載論文】

松原みゆき, 河野あゆみ (2025). 新人訪問看護師に提供された職場内教育と 6 か月後の単独訪問の実施及びワーク・エンゲイジメントとの関連. 日本看護科学学会誌, 44, 600-611.

### 【学会発表】

百田武司, 奥村ゆかり, 中村敦子, 渡邊聡美, 竹倉晶子, 中信利恵子, 松本由恵, 山本浩子, 上園愛, 松原みゆき (2025). 合格を実習の履修要件とした 3 年次全学生対象の実習前 OSCE への取り組み. 日本看護学教育学会第 35 回学術集会, 北見市.

松原みゆき, 河野あゆみ (2025). 新人訪問看護師の労働特性・教育内容の開設主体別の比較. 第 30 回日本在宅ケア学会学術集会, 豊中市.

池田弥月, 河藤蒼, 小武家優希美, 對馬桃花 (2025). 小児終末期在宅ケアにおける看護師の家族支援に関する文献レビュー. 第 30 回日本在宅ケア学会学術集会, 豊中市.

松原みゆき, 眞崎直子, 田中貴子, 渋江暁春, 立森久照, 竹島正, 橋本修 (2025). 大木町の子育て世代の心理的ストレスと地域への愛着が Well-being と子育て継続意向に与える影響. 第 84 回日本公衆衛生学会総会, 東静岡市.

眞崎直子, 松原みゆき, 田中貴子 (2025). 地域のソーシャルキャピタル醸成推進のまちづくり. 第 84 回日本公衆衛生学会総会, 東静岡市.

#### 【社会活動】

松原みゆき (2025). アドバイザー. 広島西医療圏訪問看護推進協議会, 廿日市市.

松原みゆき (2025). 委員. 廿日市市保健福祉審議会健康増進専門部会, 廿日市市.

松原みゆき (2025). 委員. 広島県看護協会 在宅医療の人材 (訪問看護師) 確保のための推進事業検討委員会, 広島市.

松原みゆき (2025). 委員. JA 広島総合病院 地域医療支援病院諮問委員, 廿日市市.

松原みゆき (2025). 査読委員. 武庫川女子大学看護学ジャーナル編集委員会.

松原みゆき (2025, 5). 講師. 看護部院内研修会 ヘルスケアシステムにおける看護職の機能と役割, 広島大学病院, 広島市.

松原みゆき (2025, 9). 座長. 第 30 回日本在宅ケア学会学術集会, 豊中市.

松原みゆき (2025, 9). 講師. 2025 年度ファーストレベル教育課程 社会保障制度概論, 広島大学病院, 広島市.

松原みゆき (2025, 11). 講師. 廿日市市介護予防・生活支援員養成研修 緊急時に必要な知識と対応, 廿日市高齢者ケアセンター, 廿日市市.

#### 【学外からの研究助成】

眞崎直子, 竹島正, 立森久照, 三徳和子, 田中貴子, 松原みゆき. 都市型準限界集落等地域のソーシャルキャピタル醸成推進プログラム開発と社会実装研究. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究 C

(一般), 令和 3 - 7 年度.

#### 松本 あつき

該当なし

#### 松本 由恵

【学会発表】

百田武司, 奥村ゆかり, 中村敦子, 渡邊聡美, 竹倉晶子, 中信利恵子, 松本由恵, 山本浩子, 上園愛, 松原みゆき (2025). 合格を実習の履修要件とした3年次全学生対象の実習前 OSCE への取り組み. 日本看護学教育学会第35回学術集会, 北見市.

【社会活動】

松本由恵 (2025, 4-12). 看護研究サポート講師. 広島県看護協会廿日市支部, 廿日市市.

**丸山 愛子**

【社会活動】

丸山愛子 (2025, 4-9). 非常勤講師. 幼児理解・教育相談, 広島大学教育学部, 東広島市.

丸山愛子 (2025, 12). 講師. 令和7年度日本赤十字広島看護大学臨床指導者研修会 教育心理, 日本赤十字広島看護大学, 廿日市市.

丸山愛子 (2025, 2). 非常勤講師. 教育心理学, 広島市立大学, 広島市.

丸山愛子 (2025, 11-12). 非常勤講師. 教育心理学, 広島市立大学, 広島市.

丸山愛子 (2025). 委員. 廿日市市事業評価監視委員会, 廿日市市役所, 廿日市市.

丸山愛子 (2025, 8). 講師. 3年目リフレッシュ研修 メンタルヘルス・ケア, 医療法人一陽会原田病院, 広島市.

**水兼 香与**

【学術雑誌等掲載論文】

水兼香与 (2025). 医療的ケア児の喀痰吸引における特別支援学校の看護師が行う教員との連携. 小児保健研究, 84 (6), 449-458.

【社会活動】

水兼香与 (2025). 運営委員. 日本 ALS 協会広島県支部, 広島県.

**水馬 朋子**

【学術雑誌等掲載論文】

中村もとゑ, 水馬朋子, 村田由香, 渡邊智恵, 高田洋介, 宗内桂, 亀石知美, 若林彰子 (2025). 広島県廿日市市の小学校における防災教育の現状. 日本赤十字広島看護大学紀要, 25, 1-11.

三輪晃子, 今井多樹子, 宗内桂, 篠原謙太, 水馬朋子, 村田由香, 門田清孝, 川畑貴寛, 高田洋介 (2025). 地域の視点で対象理解を育む「看護の基盤実習 I」の取り組み 第25回日本赤十字看護学会学術集会交流セッションを通して. 日本赤十字広島看護大学紀要,

25, 27-29.

#### 【社会活動】

水馬朋子 (2025). 査読委員. 一般社会法人日本看護学教育学会.

水馬朋子 (2025). 選出理事・査読委員. 日本医学看護学教育学会.

水馬朋子 (2025). 中国・四国ブロック委員・査読委員. 一般社団法人全国保健師教育機関協議会.

水馬朋子 (2025). 委員. 広島県国民健康保険団体連合会保健事業支援・評価委員会, 広島市.

水馬朋子 (2025). 委員. 広島県西部地域保健対策協議会専門部会, 廿日市市.

水馬朋子 (2025). 委員. 健康たけはら 21 推進委員会, 竹原市保健センター, 竹原市.

水馬朋子 (2025). 委員. 竹原市食育推進行動計画検討委員会, 竹原市保健センター, 竹原市.

水馬朋子 (2025). 委員. 広島県令和 7 年度専任教員継続研修実務者会議, 広島県看護協会, 広島市.

水馬朋子 (2025). 委員. 廿日市市建築審査会, 廿日市市役所, 廿日市市.

水馬朋子 (2025). 委員. 廿日市市地域福祉活動計画推進委員会, 廿日市市あいプラザ, 廿日市市.

水馬朋子 (2025, 6 – 12). 非常勤講師. 公衆衛生, 広島県立三次看護専門学校, 三次市.

水馬朋子 (2025, 6 – 9). 非常勤講師. 公衆衛生 I, 呉市医師会看護専門学校, 呉市.

#### 【学外からの研究助成】

扇原敦, 浅田匡, 水馬朋子, 村田由香. 地域の声を反映した防災教育をコアとした参加型協働プラットフォームの開発. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 挑戦的研究 (萌芽), 令和 5 – 7 年度.

### 三輪 晃子

#### 【社会活動】

三輪晃子 (2025, 6). 講師. 令和 7 年度赤十字看護管理者研修・日本看護協会認定看護管理者教育課程, 日本赤十字社幹部看護師研修センター, Web 開催.

三輪晃子 (2025, 10). 講師. 令和 7 年度広島県保健師助産師看護師実習指導者講習会, 広島県看護協会, 広島市.

三輪晃子 (2025, 10 – 11). 助言者. 令和 7 年度広島県保健師助産師看護師実習指導者講習会, 広島県看護協会, 広島市.

#### 【学外からの研究助成】

三輪晃子. 看護基礎教育における医療事故の未然防止シミュレーショントレーニングの構

築. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究C (一般), 令和1 - 6年度.  
三輪晃子, 木下真吾, 安田千香. 看護師の短時間勤務をサポートするマッチングシステム (広島県 PANORAMA 第8期 Camps アクセラレーションプログラム) 令和6 - 7年.

## 村田 由香

### 【学会発表】

浅川菜摘, 田村由美, 村田由香 (2025). 退院支援カンファレンスにおける多職種連携の実態と多職種連携コンピテンシーとの関連. 第26回日本赤十字看護学会学術集会, 福岡市.

田村征子, 田村由美, 村田由香 (2025). ICU における看護師のケアリング特性の実態と背景要因の関連. 第21回日本クリティカルケア看護学会学術集会, 東京.

藤井聡美, 田村由美, 村田由香 (2025). キャリア初期看護師の職業経験の質とプロフェッショナルリズムとの関連. 第45回日本看護科学学会学術集会, 新潟市.

篠原謙太, 田村由美, 村田由香 (2025). シェント狭窄を早期発見するための多職種によるシェント観察の実態. 第45回日本看護科学学会学術集会, 新潟市.

Yumi Tamura, Yuka Murata (2025). Chapter2. Theoretical Foundations of Team-based HealthCare, in Fujitani K. and Prentice D. Ed. Promoting Integrated Healthcare Systems Through Team-Based Healthcare, IGI Global (eBook).

### 【学術雑誌等掲載論文】

篠原謙太, 村田由香 (2025). 血液透析患者が守りたい生活と透析による制限のある生活との折り合いをつけるための透析看護認定看護師の看護実践. 日本腎不全看護学会誌, 27 (2), 25-34.

中村もとゑ, 水馬朋子, 村田由香, 渡邊智恵, 高田洋介, 宗内桂, 亀石知美, 若林彰子 (2025). 広島県廿日市市の小学校における防災教育の現状. 日本赤十字広島看護大学紀要, 25, 1-11.

三輪晃子, 今井多樹子, 宗内桂, 篠原謙太, 水馬朋子, 村田由香, 門田清孝, 川畑貴寛, 高田洋介 (2025). 地域の視点で対象理解を育む「看護の基盤実習 I」の取り組み 第25回日本赤十字看護学会学術集会交流セッションを通して. 日本赤十字広島看護大学紀要, 25, 27-29.

### 【社会活動】

村田由香 (2025). 委員. 廿日市市国際化・多文化共生推進懇話会.

村田由香 (2025). 委員. 廿日市市事故調査委員会副委員長.

村田由香 (2025). 委員. 看護生涯教育・研修センター会議委員長, 広島県看護協会.

村田由香 (2025). 専任査読委員. 日本赤十字看護学会.

村田由香 (2025). 専任査読委員. 日本看護管理学会.

村田由香 (2025). 理事. 日本看護管理学会.  
村田由香 (2025). 理事. 日本赤十字看護学会.  
村田由香 (2025). 理事. 日本教師学学会.  
村田由香 (2025). 委員. 赤十字の教育研究推進委員会  
村田由香 (2025). 座長. 第 29 回日本看護管理学会学術集会, 札幌市.  
村田由香 (2025). 企画委員. 第 30 回日本看護管理学会学術集会, 東京都.  
村田由香 (2025). 企画委員. 会長. 第 31 回日本看護管理学会学術集会, 広島市.  
村田由香 (2025). 講師. 認定看護管理者ファーストレベル教育課程 人材育成論, 香川県看護協会, 高松市.  
村田由香 (2025, 3). 講師. リーダーシップトレーニング研修, 島根県看護協会, 松江市.  
村田由香 (2025, 6). 講師. 若手リーダーのためのリーダーシップ研修会, 愛知県看護協会, オンライン.  
村田由香 (2025, 8). 講師. 新人看護職員研修事業 (実地指導者研修), 山口県看護協会, 防府市.  
村田由香 (2025, 8). 講師. リーダーシップトレーニング研修, 島根県看護協会, 松江市.  
村田由香 (2025, 9). 講師. セカンドレベル研修人材管理Ⅱリーダーシップの実際, 三重県看護協会, オンライン.  
村田由香 (2025, 11). 講師. 3 年目看護職集まれ研修, 兵庫県看護協会, 神戸市.  
村田由香, 田村由美 (2025). 講師. 看護師長のためのリフレクション研修, 日本赤十字広島看護大学ヒューマンケアリングセンター, 廿日市市.

#### 【学外からの研究助成】

村田由香, 宗内桂, 篠原謙太, 野村悠美子. 中堅看護師のオーセンティックリーダーシップ開発プログラムの検討. 基盤研究 C (一般), 令和 5 - 7 年度.  
篠原謙太, 村田由香. 多職種で活用するシャント閉塞予防に向けたシャントモニタリングプログラムの開発. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究 C (一般), 令和 4 - 7 年度.  
扇原淳, 水馬朋子, 村田由香. 地域の声を反映した防災教育をコアにした参加型共同プラットフォームの開発. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 挑戦的萌芽研究, 令和 5 - 8 年度.

## 門田 清孝

#### 【社会活動】

門田清孝 (2025). 大会準備・実行委員. 日本質的心理学会第 22 回大会, 広島大学東広島キャンパス, 東広島市.

【学外からの研究助成】

門田清孝, 今井多樹子. 急変前兆の早期認識・対応における臨床看護コンピテンシーに基づく教育プログラム開発. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究C (一般), 令和6-11年度.

**安田 千香**

【学会発表】

澤岡美咲, 黒田寿美恵, 中垣和子, 安田千香, 滝口里美 (2025). エンドオブライフ期を在宅で過ごすがん患者を支えるための看看連携の実際と課題. 日本がん看護学会第39回学術集会, 札幌市.

【社会活動】

安田千香 (2025). 代議員. 日本がん看護学会.

安田千香 (2025). 査読委員. 日本がん看護学誌.

安田千香 (2025). 査読委員. 第40回日本がん看護学会学術集会.

安田千香 (2025). 企画委員. 第41回日本がん看護学会, 神戸市.

安田千香 (2025, 11). 講師. がんサバイバーシップ～がんとともに生きる人びとへの看護ケア～. 広島県看護協会研修会, 広島県看護協会, オンライン.

【学外からの研究助成】

安田千香. 抗癌剤による末梢神経障害患者のためのセルフケア方法の開発. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 (若手研究). 平成30-令和6年度.

黒田寿美恵, 山内栄子, 松井美由紀, 安田千香, 中垣和子, 菊内由貴, 澤岡美咲, 滝口里美. 地域で暮らすがん患者のエンドオブライフ充実に向けた外来-地域看護連携モデルの構築. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究C (一般), 令和2-6年度.

安田千香. 地域のがんピア・サポート活動の支援モデル構築: ピア・サポーター in 暮らしの保健室. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 (若手研究), 令和7-11年度.

三輪晃子, 木下真吾, 安田千香. 看護師の短時間勤務をサポートするマッチングシステム (広島県 PANORAMA 第8期 Camps アクセラレーションプログラム), 令和6-7年.

**矢野 博史**

【社会活動】

矢野博史 (2025). 理事. 日本教師学学会.

矢野博史 (2025). 選挙管理委員長. 教育哲学会.

矢野博史 (2025, 6). 講師. 広島大学病院看護部研修会, 広島大学病院, 広島市.

矢野博史 (2025, 8). 講師. 令和7年度山口県新人看護職員研修 (教育担当者) 研修会,

山口県看護協会，防府市。

矢野博史（2025，9）。講師。「レポートの書き方」，令和6年度広島県保健師助産師看護師実習指導者講習会，広島県看護協会，広島市。

矢野博史（2025，9）。講師。「教育心理」，令和6年度広島県保健師助産師看護師実習指導者講習会，広島県看護協会，広島市。

矢野博史（2025，7）。講師。看護教育力 UP & 課題解決セミナー 教育学の専門家が斬る 入学者の変化からくる困りごとへの対応「これからの看護基礎教育」，メディカ出版，Online。

### **山内 万裕美**

【学術雑誌等掲載論文】

山内万裕美（2025）。A県原子力災害対策重点区域で活動する看護職の原子力災害対策への取り組みの課題認識。日本赤十字広島看護大学紀要，25，13-23。

【社会活動】

山内万裕美（2025）。日本赤十字看護学会，国際活動委員。

山内万裕美（2025）。一般社団法人日本看護系大学協議会，災害連携教員。

### **山村 美枝**

【社会活動】

山村美枝（2025，12）。講師。岡山県看護研修センター教育研修，岡山県看護協会，岡山市。

山村美枝（2025）。専門委員。廿日市市福祉保健審議会児童福祉専門部会，廿日市市福祉保健部，廿日市市。

山村美枝（2025）。専門委員。大竹市健康増進計画及び大竹市食育推進計画策定委員会，大竹市健康福祉部，大竹市。

山村美枝（2025）。編集委員会委員。日本小児看護学会。

山村美枝（2025）。理事，評議員。国際ケアリング学会。

山村美枝（2025）。専任査読委員。日本赤十字看護学会。

山村美枝（2025）。専任査読委員。日本小児保健協会。

### **山本 知世**

【学術雑誌等掲載論文】

百田武司，佐藤美紀子，木下真吾，大西奈緒，山本義昭，木村勇喜，山本知世，橘千恵，木村幸恵，宮脇健介，杉町英子（2025）。看護記録の基礎知識 誤解に気をつけたい略語・造語・記号と私たちの工夫。Brain Nursing，41（5），608-612。

山本知世, 百田武司 (2025). 脳外病棟の看護記録 患者の身体・心理にかかわる記録 失語と嚥下障害が残存した患者. Brain Nursing, 41 (5), 640-645.

【学外からの研究助成】

山本知世. 独居高齢者の服薬アドヒアランス向上を目指した看護介入プログラムの構築と効果の検証. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 平成 31 – 令和 8 年度.

## 山本 浩子

【学会発表】

百田武司, 奥村ゆかり, 中村敦子, 渡邊聡美, 竹倉晶子, 中信利恵子, 松本由恵, 山本浩子, 上園愛, 松原みゆき (2025). 合格を実習の履修要件とした、3 年次全学生対象の実習前 OSCE への取り組み. 日本看護学教育学会第 35 回学術集会, 北見市.

落久保裕子, 百田武司, 中村もとゑ, 山本浩子 (2025). 養護者による高齢者虐待における介護支援専門員の相談・通報の実態と影響要因. 日本老年看護学会第 30 回学術集会, 千葉市.

落久保裕子, 百田武司, 中村もとゑ, 山本浩子 (2025). 養護者による高齢者虐待に対する介護支援専門員の判断の影響要因の検討. 日本ケアマネジメント学会第 24 回研究大会, 千葉市.

【社会活動】

山本浩子 (2025, 1 – 2). 講師. 広島県看護協会広島西支部 看護研究サポート.

山本浩子 (2025). 幹事. 日本赤十字広島看護大学同窓会.

山本浩子 (2025). 幹事. 研究助成選考委員. 日本赤十字看護学会.

山本浩子 (2025). 専任査読委員. 日本赤十字看護学会.

山本浩子 (2025, 3). 大野健康をまもるつどい, 広島県看護協会廿日市支部, 廿日市市.

【学外からの研究助成】

中村もとゑ, 百田武司, 山本浩子. 在宅高齢者のドライスキン改善を目指した集合型教育プログラムの効果. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究 C (一般), 令和 7 – 10 年度.

## 横山 奈未

【学会発表】

横山奈未, 岡田淳子, 越道香織, 津村直輝 (2025). 「看護師間の患者の引き継ぎ」の概念分析. 日本看護研究学会第 51 回学術集会, 金沢市.

越道香織, 横山奈未, 清田友貴, 津村直輝, 岡田淳子 (2025). 「一般病棟の看護師が行う急変対応」の概念分析. 日本看護技術学会第 23 回学術集会, 京都市.

清田友貴, 横山奈未, 津村直輝, 岡田淳子 (2025). 看護師の与薬業務における臨床的論証に活用する患者情報. 日本看護技術学会第 23 回学術集会, 京都市.

【社会活動】

横山奈未 (2025). 講師. 広島県看護協会シリーズ看護研究, 広島県看護協会, 広島市.

横山奈未 (2025, 11). 委員. あいプラザまつり, あいプラザまつり実行委員会, 廿日市市.

【学外からの研究助成】

横山奈未, 岡田淳子, 越道香織. 周術期術後患者の手術看護師と病棟看護師間引き継ぎプロトコルの開発. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究 C (一般), 令和 7 - 9 年度.

## 吉岡 希望

【社会活動】

吉岡希望 (2025, 5). 講師. 中学生に対する性教育, 岩国市立川下中学校, 岩国市.

吉岡希望 (2025, 6). 講師. 中学生に対する性教育, 岩国市立灘中学校, 岩国市.

吉岡希望 (2025, 7). 講師. 中学生に対する性教育, 岩国市立玖珂中学校, 岩国市.

吉岡希望 (2025, 10). 講師. 小学生に対する性教育, 府中町立府中南小学校, 安芸郡府中町.

吉岡希望 (2025, 10). 講師. 中学生に対する性教育, 岩国市立平田中学校, 岩国市.

吉岡希望 (2025, 11). 講師. 中学生に対する性教育, 岩国市立麻里布中学校, 岩国市.

## 若林 彰子

【学術雑誌等掲載論文】

中村もとゑ, 水馬朋子, 村田由香, 渡邊智恵, 高田洋介, 宗内桂, 亀石知美, 若林彰子 (2025). 広島県廿日市市の小学校における防災教育の現状. 日本赤十字広島看護大学紀要, 25, 1-11.

【学外からの研究助成】

若林彰子. 強度変調放射線治療を受ける前立腺がん患者の看護支援モデルの開発. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 平成 31 - 令和 8 年度.

## 渡邊 聡美

【学会発表】

百田武司, 奥村ゆかり, 中村敦子, 渡邊聡美, 竹倉晶子, 中信利恵子, 松本由恵, 山本浩子, 上園愛, 松原みゆき (2025). 合格を実習の要件とした, 3 年次全学生対象の実習前 OSCE への取り組み. 日本看護学教育学会第 35 回学術集会, 北見市.

Mitsuko, O., Satomi, W., Yukari, O., Emi, M. (2025) . Development of a hybrid simulation program to enhance obstetric care skills in midwifery students. 15th International Nursing Conference & 28th East Asian Forum of Nursing Scholars, Seoul, Korea.

【社会活動】

渡邊聡美 (2025, 5). 講師. 中学生に対する性教育, 岩国市立川下中学校, 岩国市.

渡邊聡美 (2025, 6). 講師. 中学生に対する性教育, 廿日市市立阿品台中学校, 廿日市市.

渡邊聡美 (2025, 6). 講師. 中学生に対する性教育, 岩国市立灘中学校, 岩国市.

渡邊聡美 (2025, 6). 講師. 生理に関する健康講座, 広島県商工会青年部連合会備北地域協議会, 庄原市.

渡邊聡美 (2025, 7). 講師. 中学生に対する性教育, 岩国市立玖珂中学校, 岩国市.

渡邊聡美 (2025, 10). 講師. 小学生に対する性教育, 府中町立府中南小学校, 安芸郡府中町.

渡邊聡美 (2025, 10). 講師. 中学生に対する性教育, 岩国市立川下中学校, 岩国市.

渡邊聡美 (2025, 10). 講師. 中学生に対する性教育, 岩国市立平田中学校, 岩国市.

渡邊聡美 (2025, 11). 講師. 中学生に対する性教育, 岩国市立麻里布中学校, 岩国市.

編集：令和7年度ヒューマンケアリングセンター運営委員会

委員長：水馬朋子、副委員長：山村美枝 委員：松原みゆき、中村敦子、三輪晃子、高田洋介、横山奈未、泉晴子、木村美紀、山本恵美子

発行：令和8年3月

日本赤十字広島看護大学ヒューマンケアリングセンター 広島県廿日市市阿品台東1番2号

TEL 0829-20-2806 Email human@jrchcn.ac.jp